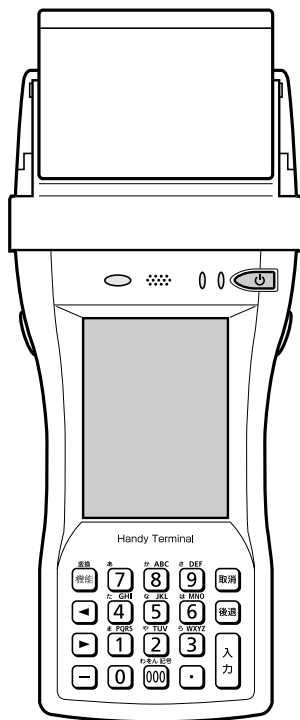


CASIO®

HANDY TERMINAL DT-9700シリーズ

取扱説明書

- この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますので使用前にひと通りお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
- 保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



本製品は、株式会社ブライセンが著作権を保有するB-RAPPORE StackおよびMy Wirefree Network Bluetooth User Interface Applicationを、ライセンスを受けて搭載しています。

Bluetooth®

BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Datalightはデータライト社の登録商標です。

FlashFX™はデータライト社の商標です。

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.

Copyright 1993-2000 Datalight, Inc., All Rights Reserved

U.S. Patent Office 5,860,082

その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止



記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く



記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告

■ 分解・改造しないでください



分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■ 異常状態で使用しないでください



注意

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

■ 異物が中に入ったときは



注意

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 破損したときは



注意

- 万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 水などがかからないようにしてください



禁止

- ハンディターミナル本体は防沫仕様ですが、オプションのIOボックス等は防沫仕様ではありませんので、水などの入った容器または金属物を置かないでください。
また、ハンディターミナルを濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

無線通信機能の取り扱いについて

警告

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。

電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

注意

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



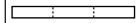
注意

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。

使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4 FH1



この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

⚠ 注意

■ 異物が入らないようにしてください



禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 設置場所について



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください



禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 表示画面の取り扱いについて



禁止

- タッチスクリーンを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。タッチスクリーンや液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

■ 機器内部にはさわらないでください



接触禁止

- 高圧部には、絶対に手を触れないでください。感電の原因となります。

■ プリンタについて



接触禁止

- プリンタモータ、ヘッド付近は高温になるため手を触れないでください。やけどの原因となります。
- 素手などで回転中のギアを触ると、けがの原因となることがあります。触れないようご注意ください。
- ペーパー切取口の刃に触るとけがの原因となることがあります。触れないようご注意ください。

リチウムイオン充電電池パックについて

危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属の端子カバーを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高压容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

AC電源の使用について

警告



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。



注意

- シリアルI/Oボックス又は置くだけ充電器を利用するときは、必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意



禁止

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタについて

⚠ 注意



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



- ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。
ACアダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意



注意

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

ご使用上の注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● **電池が消耗した状態で使い続けしないでください。**

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

● **消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。**

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

● **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**

範囲外で使用すると故障の原因となります。

● **次のような場所での使用は避けてください。**

本機の故障、破損の原因になります。

- ・ 静電気が発生しやすいところ
- ・ 極端に高温または低温のところ
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 急激な温度変化が起こるところ
- ・ ほこりの多いところ

● **タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。**

● **スタイラス(ペン)以外でのタッチスクリーン操作はお避けください。タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。**

● **本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。**

はじめに

- ・本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- ・本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ・本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- ・保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの販売店に申し出て記入してください。
- ・万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの販売店までご連絡ください。
- ・安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

安全上のご注意	3
ご使用上の注意	11
はじめに	12
保証およびサービスについて	12
お使いになる前に	15
本機のシステム体系図	18
別売品一覧	18
各部の名称とはたらき	22
DT-9700M33/M33MCR/M53	22
DT-9700M33ASK	22
キーのはたらき	24
電池交換のしかた	25
メイン電池の交換のしかた	25
ハンドベルトの取り付けかた	28
ネクストラップの取り付けかた	29
ペンホルダーの取り付けかた	30
本機の設定について	32
タッチスクリーンの位置補正をする	32
コントラストを調節する	33
画面の明るさを調節する	33
画面の明るさを自動減光する	33
プリンタの取り扱い	34
ロールペーパーを使用する場合	34
単票用紙を使用する場合	37
プリンタ使用上の注意事項	41
磁気カードリーダー(DT-9700M33MCR)の取り扱い	42
データ通信について	43
赤外線通信	43
パソコンとの通信	43
Bluetooth®通信	44
リセットのしかた	45
フルリセット(メモリの初期化)について	46
DT-9700の仕様	47
シリアルIO ボックス(HA-B61IO)の取り扱い	49
各部の名称とはたらき	49
シリアルIO ボックスの電源の取り付けかたと接続	51
DIP スイッチの設定	53

シリアルIO ボックス(HA-B61IO)を2台以上接続する	54
シリアルIO ボックス(HA-B61IO)の仕様	55
置くだけ充電器(HA-B30CHG)の取り扱い	56
各部の名称とはたらき	56
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続	58
置くだけ充電器(HA-B30CHG)の仕様	59
本体接続充電器(AD-A95100L)の取り扱い	60
本体接続充電器(AD-A95100L)の仕様	60
シングル充電器(DT-9721CHG)の取り扱い	61
シングル充電器(DT-9721CHG)の仕様	62
マルチ充電器(DT-9726MCHG)の取り扱い	63
マルチ充電器(DT-9726MCHG)の仕様	64
PC カードの取り扱い	65
PC カード取り出しテープの貼り付け	65
PC カードの装着(ロールペーパーホルダーを使用している場合) ...	65
PC カードの装着(単票用紙ホルダーを使用している場合) ...	67
SDメモ리카ードの取り扱い	70
SDメモ리카ードの装着	70
バーコードリーダーの取り扱い	71
バーコードリーダーの接続	71
バーコードリーダーの使用方法	72
バーコードリーダーの仕様	75
画面保護カバーの取り付け	76
防滴カバーの取り付け	77
充電電池パックの取り扱い	79
充電電池パックの仕様	79

お使いになる前に

本機をはじめてお使いになる前に、次の手順で準備を行ってください。

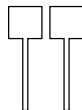
1 箱の中身を確認しましょう。

箱を開けたら、まず、次の付属品が全部そろっているか、確認してください。

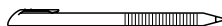
●本体



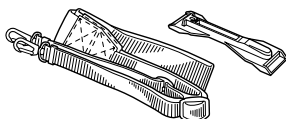
●PCカード取り出しテープ2枚



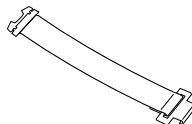
●スタイラス(ペン)



●ネックストラップとペンホルダー



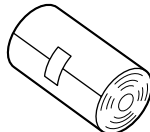
●ハンドベルト



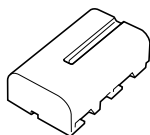
●ネックストラップ用リング



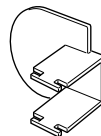
●ロールペーパー



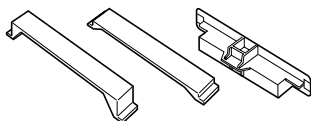
●充電電池パック



●58mm用紙用ペーパーパーティション



●PCカードホルダー



●取扱説明書(本書)

●保証書

2 充電電池パックを充電します。

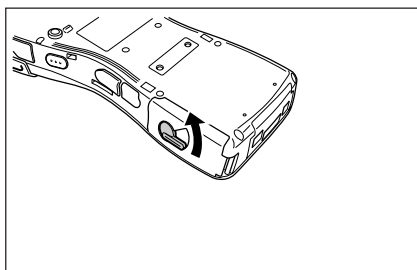
充電電池パック(DT-9723LI)を充電します。充電はシングル充電器、置くだけ充電器、シリアルIOボックスなどを充電器として使って行います。

置くだけ充電器などで充電する場合は、あらかじめ本体に充電電池パックを取り付けてください。

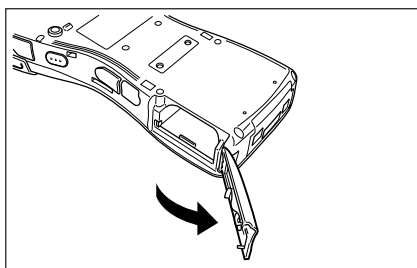
それぞれの充電のしかたについては、61、58、51ページをご覧ください。

3 充電電池パックを取り付けます。

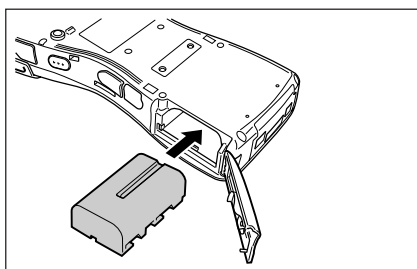
- ① 本体側面の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置にスライドさせます。



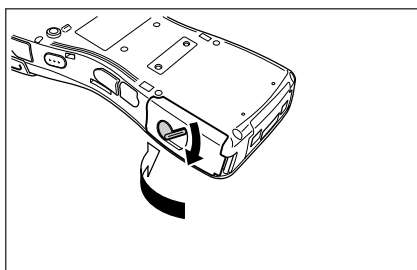
- ② 充電電池パックカバーを開きます。



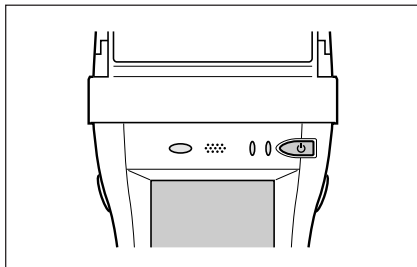
- ③ 充電電池パック(DT-9723LI)を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。



- ④ 図のように充電電池パックカバーを元に戻し、充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。



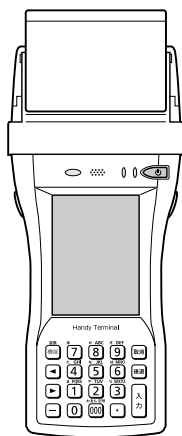
- 4** 電源キーを約1秒間押して電源を入れます。
必要なアプリケーションを起動してください。



本機のシステム体系図

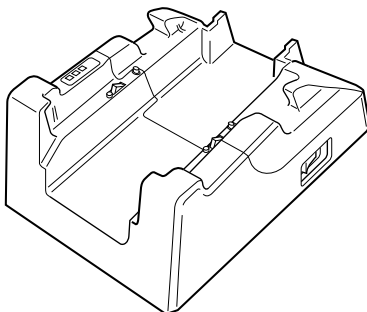
別売品一覧

DT-9700シリーズ
(本体)



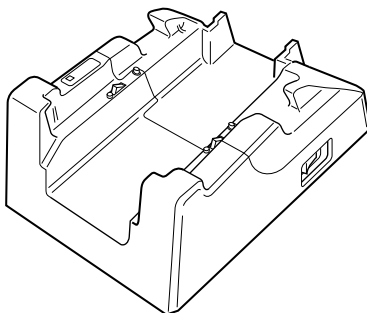
シリアルIOボックス

HA-B6110



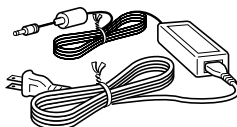
置くだけ充電器

HA-B30CHG



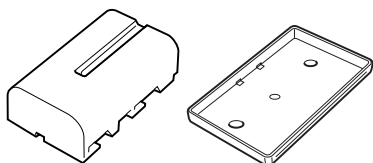
シリアルIOボックス/置くだけ充電器用ACアダプタ

AD-S42120A



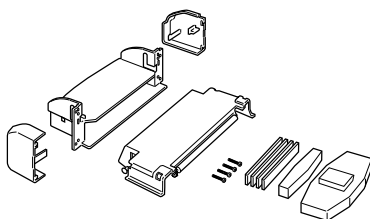
充電電池パック

DT-9723LI



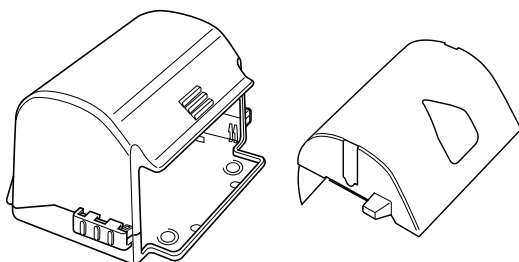
単票用紙ホルダー

HA-B93PH



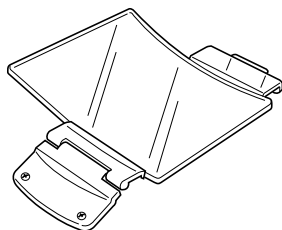
防滴カバー (DT-9700M33用)

HA-B92PCV



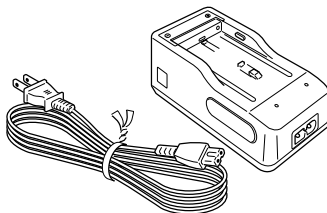
画面保護カバー

HA-B90DCV



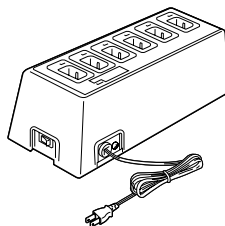
シングル充電器

DT-9721CHG



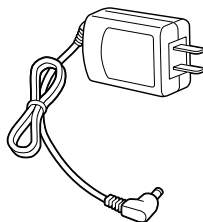
マルチ充電器

DT-9726MCHG



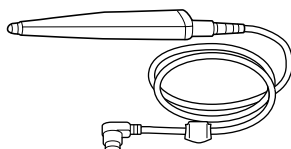
本体接続充電器

AD-A95100L

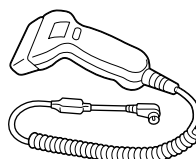


バーコードリーダー

DT-9650BCR

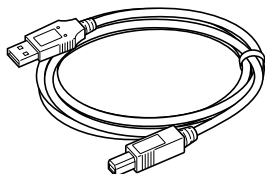


DT-9656BCR

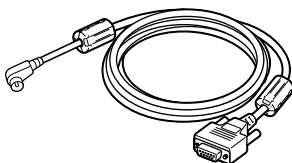


ケーブル

DT-882RSC	シリアルIOボックス-PC接続用ケーブル(RS232C)
DT-883RSC	シリアルIOボックス-PC接続用ケーブル(RS232C)
DT-887AXA	IOボックスケーブル/RS-232C Dsub- 9Pin(メス)
DT-888RSC	シリアルIOボックス連鎖接続用ケーブル
DT-380USB	シリアルIOボックス-PC接続用ケーブル(USB)

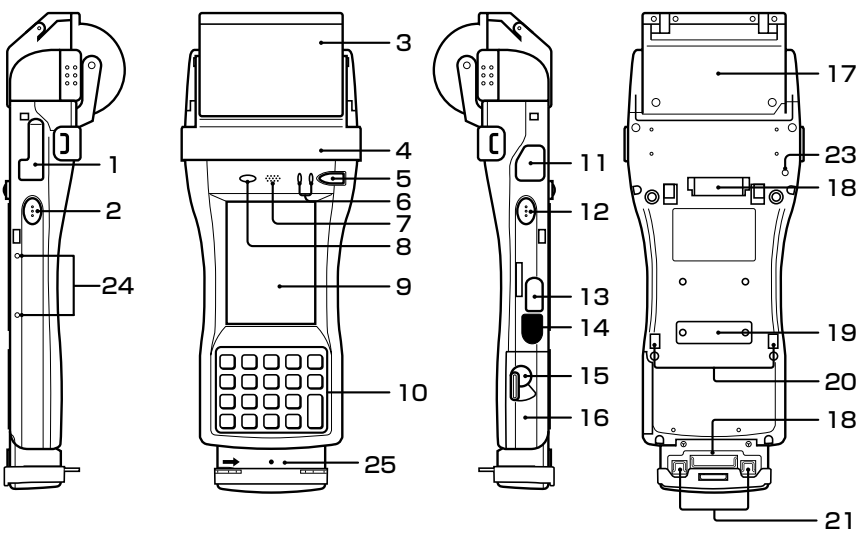


HA-B80AX 本体-PC接続用ケーブル



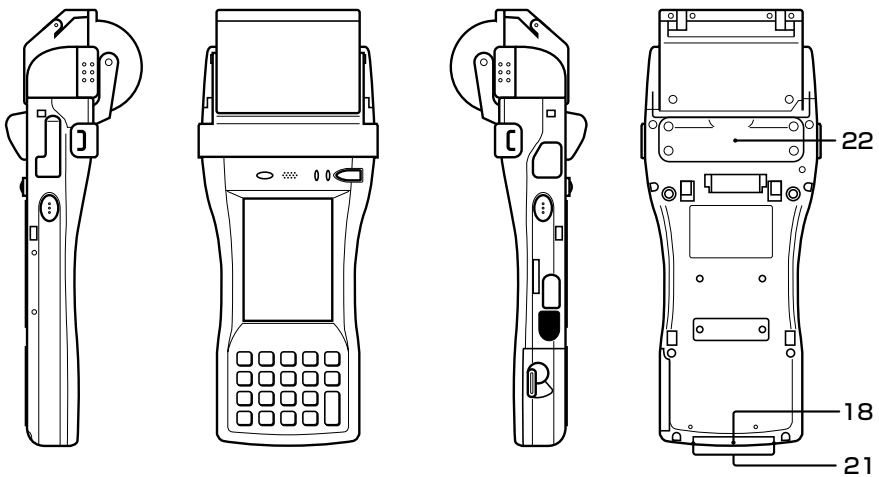
■ 各部の名称とはたらき

DT-9700M33/DT-9700M33MCR/M53



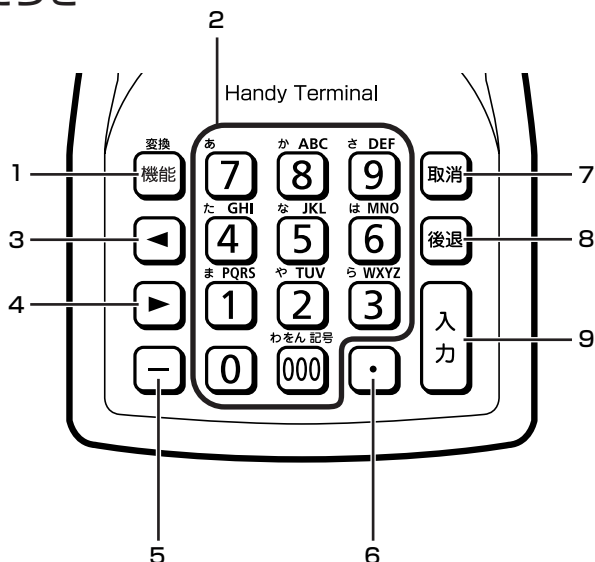
※イラストはDT-9700M33MCR

DT-9700M33ASK



1	SDメモ리카ードスロット	SDメモ리카ードのスロットです。
2	プログラムキー(L)	任意の機能を設定できます。
3	ロールペーパーホルダー	ロールペーパーをセットします。単票用紙を使用するときはオプションの単票用紙ホルダーを使用してください。
4	ペーパー切取口およびペーパー切取口カバー	印字されたロールペーパーをここで切り取ります。カバーは防沫用カバーです。印字するときはカバーを開けて印字してください。カバーを開けるとペーパーの切取口があります。
5	電源キー	電源のON/OFFを操作するときに押します。
6	インジケータ1(左側)	充電が完了すると緑色に点灯します。充電中は赤色に点灯します。
	インジケータ2(右側)	アプリケーションソフトの設定に従って点滅・点灯します。
7	スピーカー	音声、ブザー音を発します。
8	照度センサー	周囲の明暗を検出するセンサーです。表示バックライト、キーバックライトをプログラムの設定により自動的に制御することができます。不用意にふさがないでください。
9	液晶パネルおよびタッチスクリーン	文字や操作の指示などが表示されます。また、付属のスタイラスを使って本機の操作やデータ入力を行います。
10	ストロークキー	機能キー、数値キーなど19のキーがあります。詳しくはP24「キーのはたらき」を参照してください。(照光機能あり)
11	RS-232Cインターフェースコネクタ	バーコードリーダなどはこのコネクタに接続します。コネクタカバーを開いて接続してください。
12	プログラムキー(R)	任意の機能を設定できます。
13	充電ジャック	本機のリチウムイオン電池パックを充電するときにこのジャックに本体接続充電器を接続します。ジャックカバーを開いて接続してください。
14	赤外線通信ポート	本体間通信、シリアルI/Oボックスとの通信などに使います。
15	充電電池パックカバーロックスイッチ	充電電池パックカバーを開閉するときに回転させます。
16	充電電池パックカバー	この中に充電電池パックを装着します。
17	PCカードスロット	別売のPCカードを接続します。PCカードはカバーを外して装着してください。
18	ハンドベルト取り付け部	ハンドベルトを取り付けるとき使います。
19	14pinシリアルインターフェースコネクタ	将来の拡張用に用意されています。
20	給電端子	シリアルI/Oボックスと置くだけ充電器からの給電に使います。
21	ネックストラップ取り付け部	ネックストラップを取り付けるとき使います。
22	専用通信ポート(DT-9700M33ASK)	特定の外部機器との通信に使用します。
23	リセットスイッチ	リセットするときに押します。誤って押さないよう、ご注意ください。
24	画面保護カバー取り付け部	画面保護カバーを取り付けるときネジを外して使用します。
25	磁気カードリーダー(DT-9700M33MCR)	磁気カードをここで読み取ります。カバーをはずして使用してください。

キーのはたらき



1	機能キー	他のキーと組み合わせて、文字入力モードの切替や各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
2	置数キー(数値キー)	数字や文字を入力するときに押します。
3	◀(カーソルキー)	カーソルを左に移動するときに押します。
4	▶(カーソルキー)	カーソルを右に移動するときに押します。プリンタ用紙がセットされているときは、機能キーを押したあと▶を押すと、紙送りができます。
5	-	ハイフン(-)、長音記号(ー)を入力するときに押します。
6	.	ピリオド(.)を入力するときに押します。
7	取消	操作を取り消すときに押します。
8	後退	カーソルの左の文字を削除するときに押します。
9	入力	入力を確定するときに押します。

※照光機能あり

■ 電池交換のしかた

本機では2種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電電池パック(DT-9723LI)を使います。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池： 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池： 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。

充電電池パックは、シングル充電器、置くだけ充電器、シリアルIOボックスなどを使用して充電できます。

充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

メイン電池の交換のしかた

■ 使用上のご注意

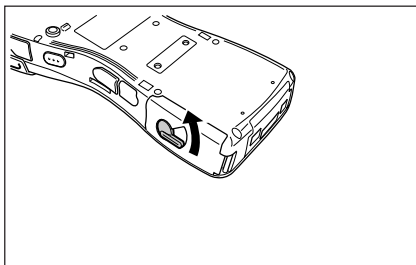
■ 重要なデータは控えをとっておいてください

- ・メイン電池は動作およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池を外さないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池を外すと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- ・充電電池パックは出荷前の製品検査や自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- ・充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- ・バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても、約10分間メモリ(RAM)のバックアップを行うことができます。
- ・バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において、4日間で満充電の状態になります。

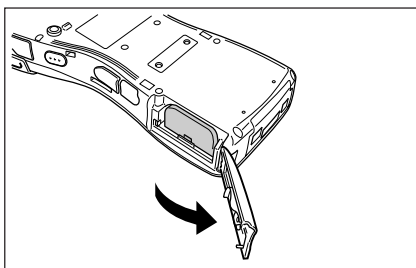
充電電池パックの交換

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

- 2 本体側面の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置にスライドさせます。

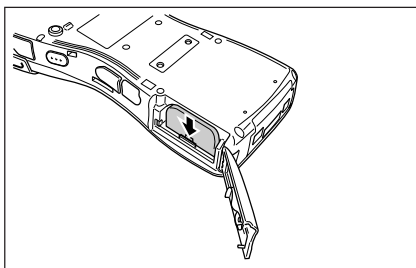


- 3 充電電池パックカバーを開きます。

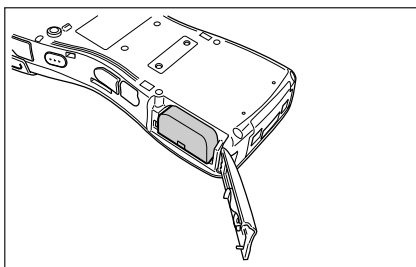


- 4 充電電池パックを取り出します。

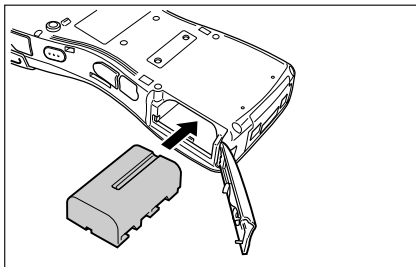
- ① 電池取り出し用ボタンを押します。



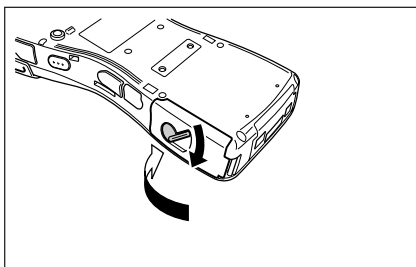
- ② 電池が出てくるので、そのまま引き出します。



- 5 向きを間違えないように注意して、充電された充電電池パックを取り付けます。



- 6 図のように充電電池パックカバーを元に戻し、充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。

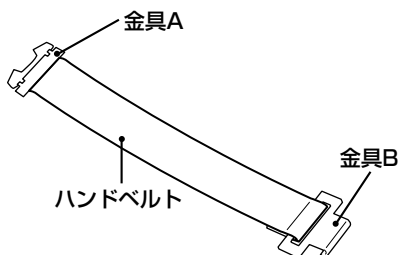


使用上のご注意

- ・ 充電電池パックの交換は10分以内に行ってください。
10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがあります。
- ・ 指定された電池以外は使用しないでください。

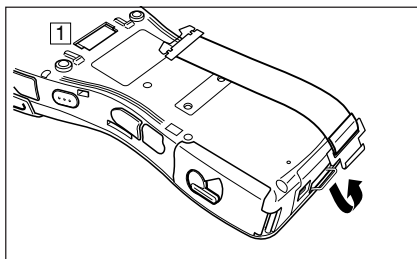
■ ハンドベルトの取り付けかた

本機には収縮性のあるハンドベルトを取り付けることができます。

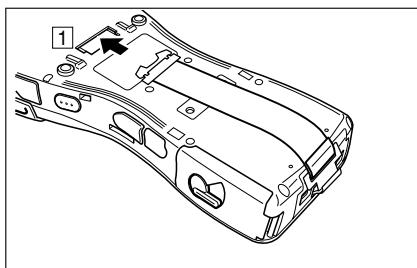


ハンドベルトは次の手順で取り付けてください。

- 1 ハンドベルトの金具Bを、本体底部のハンドベルト取り付け部に取り付けます。

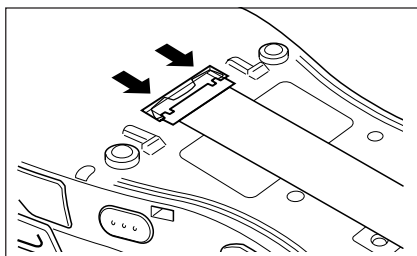


- 2 ハンドベルトを図の方向に引っ張り、金具Aを本体背面のツメ (1) に引っかけます。



- 3 金具Aのワイヤーを、本体のくぼみにはめ込んで固定します。

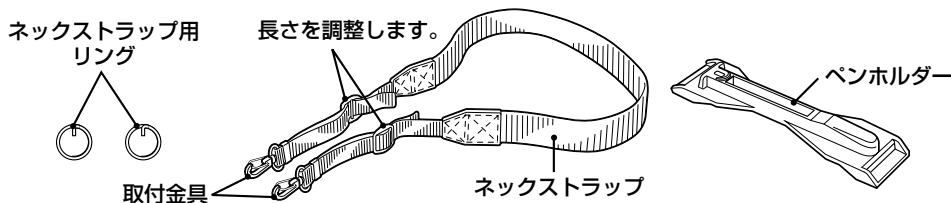
- 取り外すときは、ワイヤーの中央を引き上げてください。



※イラストはDT-9700M33

■ ネックストラップの取り付けかた

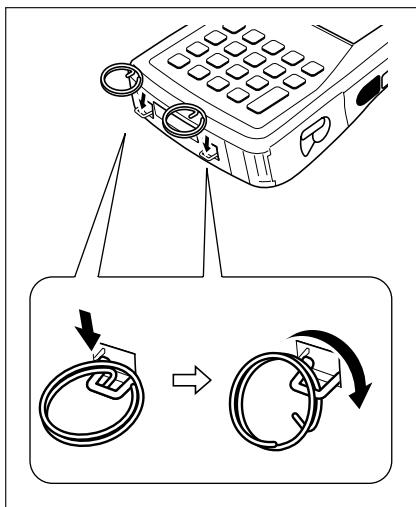
本機は、移動するときに落下防止用として、ネックストラップが使用できますのでご利用ください。また、付属のペンホルダーも取り付け使用できます。



ネックストラップは次の手順で取り付けてください。

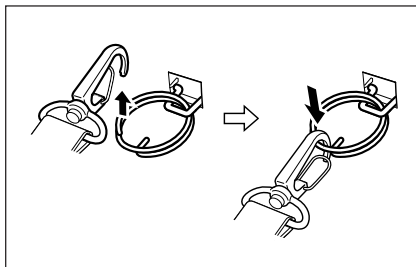
取り付けかた

- 1 スタイラス(ペン)を使って本体の底面にあるネックストラップ用取付金具を引き出し、ネックストラップ用リングを取り付けます。(リング内側の突き出た部分を金具に引っかけ、軽く押し付けながら図のように回転させてください)



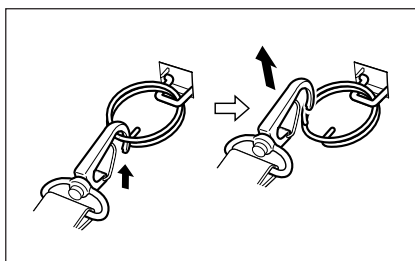
※イラストはDT-9700M33

- 2 ネックストラップの取付金具の留め金を押し込み、フックの部分をネックストラップ用リングに差し込みます。

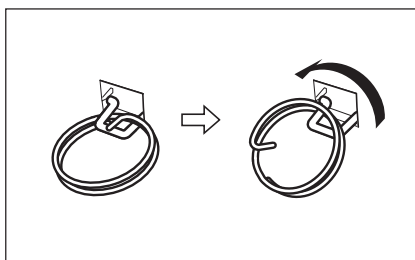


取り外しかた

- 1 ネクストラップの取付金具の留め金を押し込み、ネクストラップ用リングからフックの部分を外します。

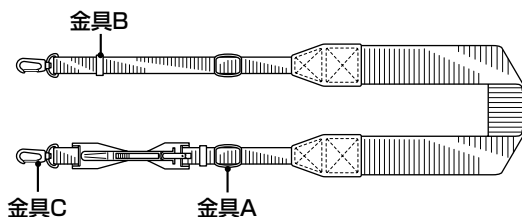


- 2 「取り付けかた」と逆の手順でネクストラップ用リングを取り外し、本体のネクストラップ用取付金具を内側に戻します。



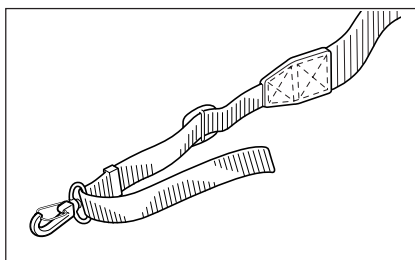
ペンホルダーの取り付けかた

ネクストラップには、必要に応じて付属のペンホルダーを取り付けることができます。ペンホルダーを取り付けるときは、本体からネクストラップを取り外してください。また、スタイラスをペンホルダーから取り外してください。

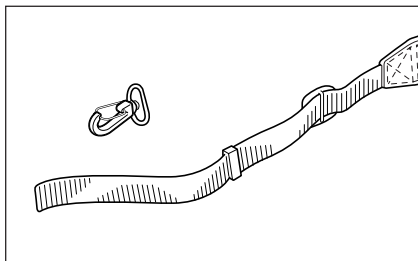


次の手順で取り付けます。

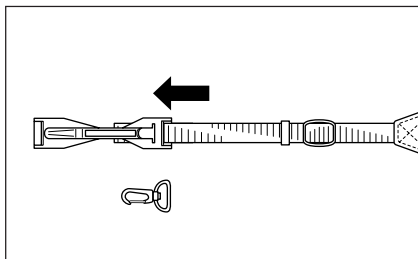
- 1 金具Aと金具Bからストラップの端を抜きます。



2 金具Cを取り外します。

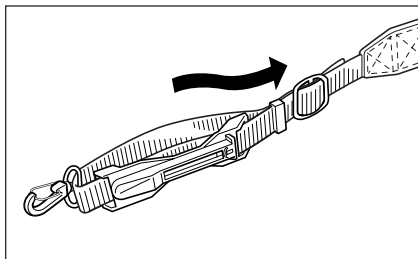


3 図のように、ペンホルダーにストラップを通します。

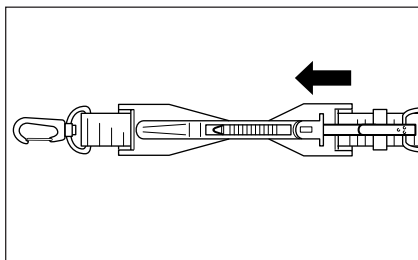


4 ストラップに金具Cを通したあと折り返し、金具Aと金具Bで元のように固定します。

- 折り返したストラップは、ペンホルダーに通さないでください。



- ネックストラップを本体に取り付けてから、ペンホルダーにスタイラスをセットしてください。



使用上のご注意

ネックストラップを持って、本体を振り回さないでください。

■ 本機の設定について

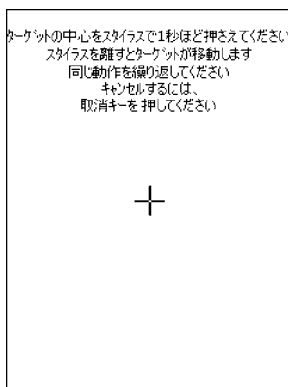
タッチスクリーンの位置補正をする

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下の方法でタッチスクリーンの再補正をしてください。

- 機能キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから“4”キーを押します。

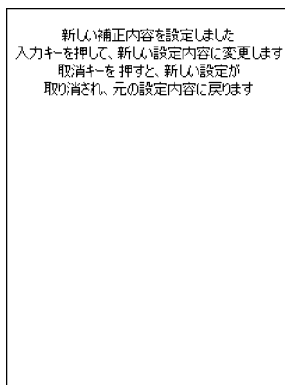
次の画面が表示されます。

※コントロールパネルの「スタイラス」をダブルタップ*して次の画面を表示させることもできます。



- 画面の指示に従って、ターゲット(+マーク)の中心をスタイラスで押さえます。

画面上のターゲットを5回押さえると、次の画面が表示されます。



- 実行キーを押すか、画面の任意の位置をタップ**します。

* ダブルタップ：タッチスクリーンを軽く2回続けてつつく操作です。

** タップ：タッチスクリーンを軽く1回つつく操作です。

コントラストを調節する

画面の色が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、以下の方法で、コントラスト(画面の色の濃さ)を調節してください。

- 機能キーを押して画面右下に「F」が表示されたことを確認してから、「2」または「3」キーを押します。「2」キーを押すとコントラストが濃く、「3」キーを押すと淡くなります。
※続けて調整するときは、あらためて機能キーを押してから「2」または「3」キーを押してください。
※コントロールパネルの「コントラスト&明るさ」をダブルタップ*して設定することもできます。

画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- 機能キーを押して画面右下に「F」が表示されたことを確認してから、「5」または「6」キーを押します。「5」キーを押すと暗く、「6」キーを押すと明るくなります。
※続けて調整するときは、あらためて機能キーを押してから「5」または「6」キーを押してください。
※コントロールパネルの「コントラスト&明るさ」をダブルタップ*して設定することもできます。

使用上のご注意

高温の場所でご使用になる場合は製品を保護する為に画面が暗くなることがあります。

画面の明るさを自動減光する

充電電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。

以下の方法で減光するまでの時間を設定してください。

- 画面左下の「スタートボタン」をタップし、「設定」メニューの「コントロールパネル」を選択します。次に「コントラスト&明るさ」アイコンをダブルタップ*し、「バックライト」タブをタップ**して、表示された項目を設定します。

* ダブルタップ：タッチスクリーンを軽く2回続けてつつく操作です。

** タップ：タッチスクリーンを軽く1回つつく操作です。

■ プリンタの取り扱い

DT-9700のプリンタは、ロールペーパー(80mmおよび58mm幅)や80mm幅の単票用紙に印刷することができます。

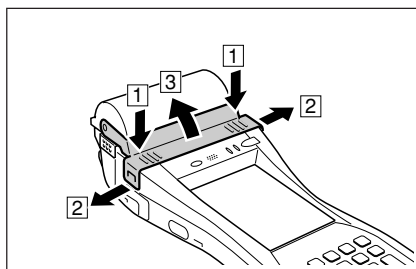
単票用紙に印刷するときは、別売の単票用紙ホルダーを使用してください。

ロールペーパーを使用する場合

ロールペーパーをセットする

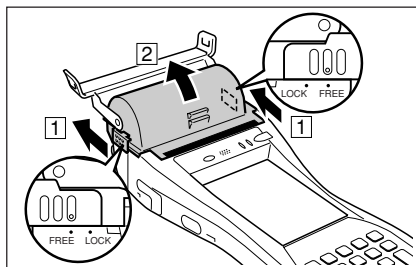
1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

2 ペーパー切取口カバーの^①の部分を押さえながら(①)、左右のロックを^②のように開いて(②)外し、開きます(③)。

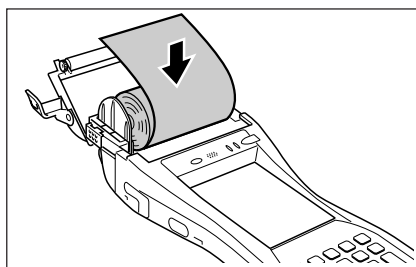


3 ロールペーパーホルダーの左右のロックスイッチを^①のようにずらし「FREE」の位置に合わせ(①)、^②の部分を押上げて(②)開きます。

• 右と左のロックスイッチの位置が異なっていますので注意してください。

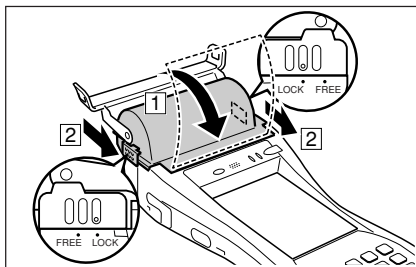


4 ロールペーパーのシールを剥がし、^①のようににセットします。



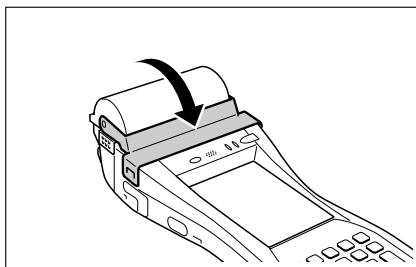
- 5 ロールペーパーホルダーを閉じ、左右のロックスイッチを図のようにずらし「LOCK」の位置に合わせて固定し、余分な用紙を切り取ります。

- 右と左のロックスイッチの位置が異なっていますので注意してください。



- 6 必要に応じてペーパー切取口カバーを閉じます。

- プリンタで印字するときは、ペーパー切取口カバーを開いてください。
- 雨が降っている野外などでは、ペーパー切取口カバーを閉じてください。



使用上のご注意

- プリンタには必ずロールペーパーをセットして印字してください。セットしないまま印字操作を行うとプリンタの故障の原因となることがあります。
- ロールペーパーの紙詰まりが起きたときは、「ロールペーパーをセットする」の手順1～3の操作でロールペーパーホルダーを開き、詰まった紙を取り除いてください。なお、このときプリンタが高温になっていることがあります。プリンタに触れないようご注意ください。
- ロールペーパーがはさまった状態でペーパー切取口カバーを閉じたときは、防沫機能が保証されません。
- ペーパー切取口カバーを使用しないときは、取り外してください。取り外したときは、防沫機能が保証されません。取り外したペーパー切取口カバーは大切に保管してください。
- ロールペーパーの先端が丸まってセットしにくいときは、逆方向に折りまげるなど、まっすぐに伸ばしてからセットしてください。

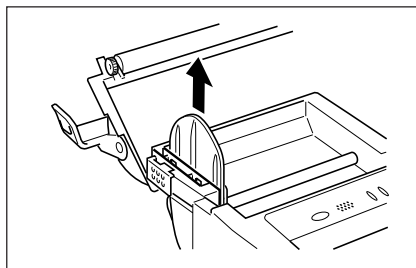
58mm用紙用ペーパーパーティションの取り付けかた

58mm幅のロールペーパーを使うときは、ロールペーパーホルダー内に58mm用紙用ペーパーパーティションを取り付けます。

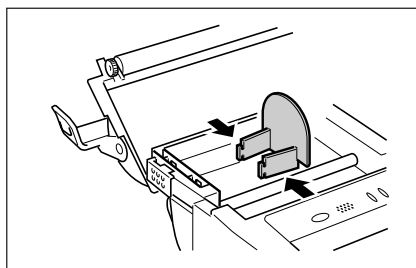
ロールペーパーホルダーの開きかたと閉じかたは「ロールペーパーをセットする」の操作を参照してください。

1 図のように80mm用紙用ペーパーパーティションを取り外します。

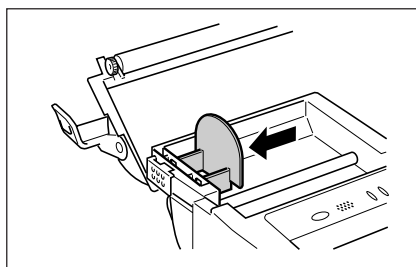
- 取り外した80mm用紙用ペーパーパーティションは大切に保管してください。



2 図のように58mm用紙用ペーパーパーティションの取り付け部を左右から押さえます。



3 ロールペーパーホルダー内左側の取り付け穴に、58mm用紙用ペーパーパーティションの取り付け部を挿し込んで固定します。



使用上のご注意

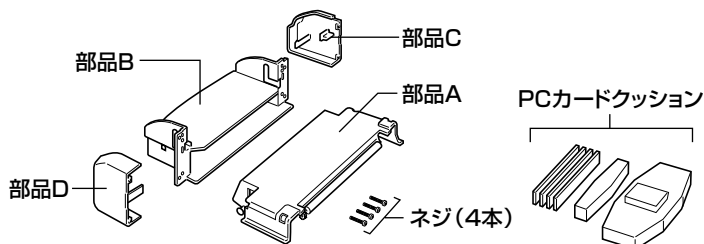
- 58mm幅のロールペーパーをご使用になる場合は、必ず58mm用紙用ペーパーパーティションを取り付けてください。取り付けずにご使用になると、紙詰まりや故障の原因となります。
- 58mm幅のロールペーパーは、搭載しているアプリケーションが58mm幅専用の場合に限り使用できます。

単票用紙を使用する場合

単票用紙ホルダーを取り付ける

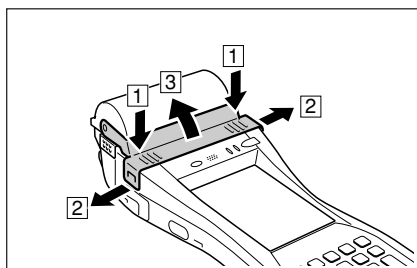
単票用紙に印刷するときは、別売の単票用紙ホルダーを取り付けます。単票用紙ホルダーは4点の部品とネジ4本で構成されています。

また、PCカードが衝撃などで外れることを防止するために、PCカードクッションが同梱されています。必要に応じて使用してください。



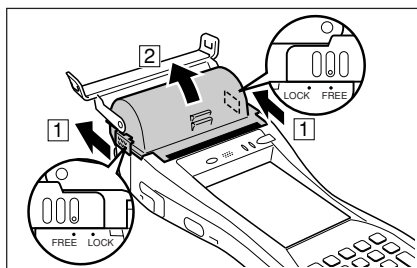
- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

- 2 ペーパー切取口カバーの ㊦ の部分を押しえながら (1)、左右のロックを図のように開いて (2) 外し、開きます (3)。



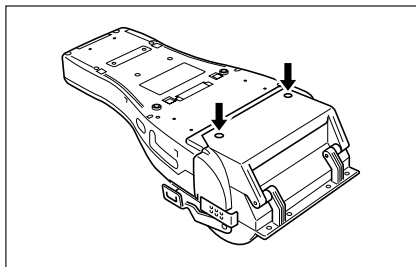
- 3 ロールペーパーホルダーの左右のロックスイッチを図のようにすらし「FREE」の位置に合わせ (1)、 ㊦ の部分を押し上げて (2) 開きます。

- 右と左のロックスイッチの位置が異なっていますので注意してください。

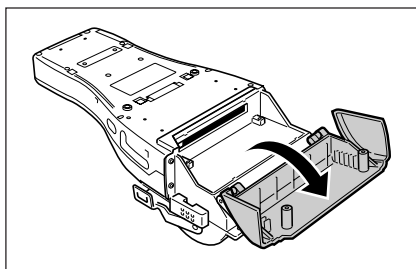


- 4 本機を裏返します。

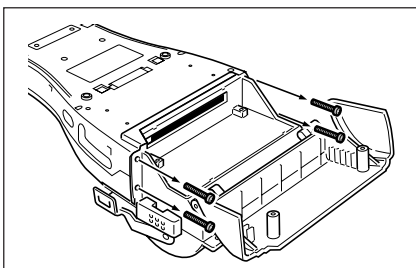
- 5** 図のネジを2本ゆるめます。(ネジは外れません)



- 6** 図のようにカバー(PCカードスロット部のカバー)を開きます。

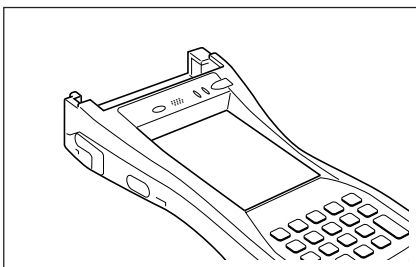


- 7** 図のネジを4本ゆるめて外します。
外したネジはなくさないように保管してください。

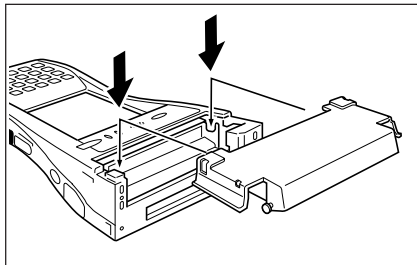


- 8** 本機を表向きにします。

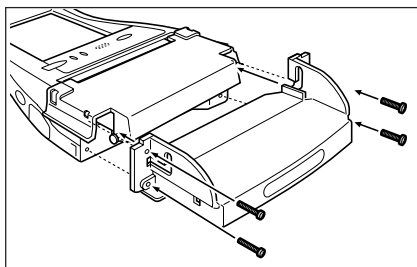
- 9** ロールペーパーホルダー全体を取り外します。



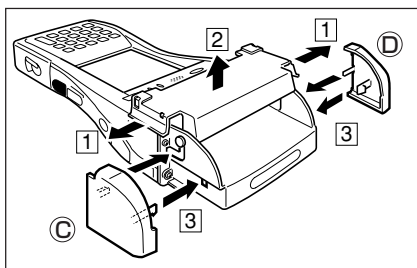
- 10 単票用紙ホルダーの部品Aを本体に取り付けます。
部品Aの両端を押し、本体にはめ込んでください。



- 11 部品Bのミソを部品Aの両側の突起にはめ込み、本体に単票用紙ホルダー用ネジでネジめします。



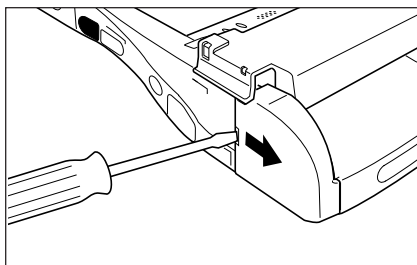
- 12 部品Aの両端を広げて(1)本体から外し、その突起部が部品Bのミソの上端にくるまで持ち上げ(2)、部品Cおよび部品Dを左右からはめ込みます(3)。
その後、部品Aの両端を押し、本体にはめ込んでください。



単票用紙ホルダーを取り外す

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。
- 2 「単票用紙ホルダーを取り付ける」の操作を逆の順序で行い、単票用紙ホルダーを取り外し、ロールペーパーホルダーを取り付けます。

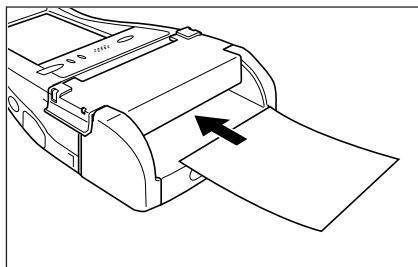
- 部品Cおよび部品Dは、図のようにマイナスドライバーを使って取り外してください。



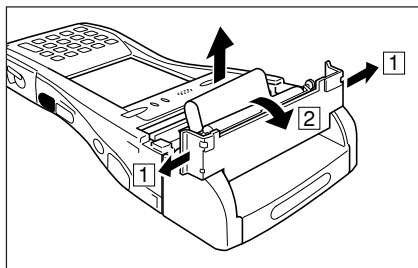
単票用紙をセットする

単票用紙をセットする前に、スタート→設定→コントロールパネル→プリンタ設定の「プリンタ制御」でオートローディングを有効にしてください。

- 1 単票用紙の印刷面を下にして、挿入口からつき当たるまで差し込みます。用紙が自動的に送られ、印刷位置にセットされます。



- 単票用紙の紙詰まりが起きたときは、単票用紙ホルダーの上部カバー（部品A）を図のように開き（[1]、[2]）、詰まった紙を取り除いてください。



使用上のご注意

- プリンタには必ず単票紙をセットして印字してください。セットしないまま印字操作を行うとプリンタの故障の原因となることがあります。
- プリンタが高温になっていることがあります。プリンタに触れないようご注意ください。

プリンタ使用上の注意事項

印字精度上のご注意

1. 横罫線等の高デューティ印字や電池残量が少ない状態で印字をすると、過大電流の消費を防ぐため印字速度が遅くなり、1ドット以上の段差が生じることがあります。
2. ライン単位の印字の間隔が約1秒以上あると、改行誤差が生じることがあります。印刷済み単票用紙の場合は、改行誤差を考慮して大きめの枠にするか、連続で印字するようにしてください。
3. 電池パックの電圧低下時には印字を一時停止するため、その後の再開時の印字に段差や字詰まりを起こすことがあります。
4. ロールペーパーホルダーを開けて用紙を装着した直後の印字は、字詰まりを起こすことがあります。印字を開始する前に、プログラムによる紙送りを行なうことにより防止できます。
5. プリンタ用紙を正しくセットしないと印字できません。必ずプリンタ用紙を正しくセットしてから印字させてください。
6. プリンタ用紙は推奨品をご使用ください。推奨品以外のプリンタ用紙を使用すると、印字品質・寿命などに悪影響を及ぼし、特性を損なう恐れがあります。
7. プリンタ用紙の保存は以下のことに注意してください。
 - ・ 60℃以上では自然発色することがあるので高温・多湿の場所には保管しないでください。
 - ・ 保管は冷暗所で行ない、直射日光などに長時間当てないでください。
 - ・ 可塑剤を含んだプラスチックフィルムやエステル系消しゴム、テープの糊などで退色したり、有機溶剤やジアソコピー紙との接触、爪などでの引っかきで発色したりしますので注意してください。

その他のご注意

1. 2P、ラベル紙印字の場合の使用温度範囲は、5～35℃です。
2. 用紙の赤色エンドマークが出てきたら、すみやかに新しい用紙と交換してください。
3. 推奨用紙：印字用紙は弊社指定の用紙を使用してください。
4. プリンタを長時間使用していると用紙屑がたまり、印字品質が劣化することがあります。このような状態になったらサーマルヘッドのクリーニングが必要となりますのでカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
5. 使用温度が低くなると印字品質が悪くなる場合があります。
6. 58mm幅の設定で印字を実行すると、それ以降は80mm幅の設定に戻すことはできません。
7. 長期間使用しない場合はプリンタ部の損傷を防ぐためプリンタ用紙をセットしてください。



注意

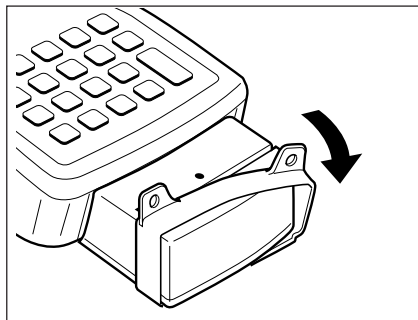
■ 印字中および印字直後のサーマルヘッドは絶対に触らないでください。

磁気カードリーダー(DT-9700M33MCR)の取り扱い

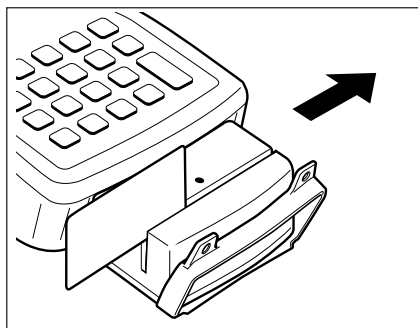
読み取りカードはJIS II / ISO規格に合ったものを使用してください。

カードの読み取りは下記の手順で行ってください。

1 図のようにカバーを開きます。



2 図のようにカードを奥まで差し込んで一定の速度で矢印の方向に通してください。



使用上のご注意

- カードの操作速度により読み取りができない場合があります。
- カードの速度を極端に速めたり遅めたりするとリードエラーの原因となります。
- 磁気カードに磁石を近づけると、カードのデータが読み取りできなくなる場合がありますので磁石には近づけないでください。また磁気カード同士を重ねないでください。
- 著しく変形したり反ったカードでは読み取りできない場合があります。
- カード磁気部が汚れていると読み取りづらくなります。もしカードが汚れているときはきれいな柔らかい布でカードを拭いてください。
- 磁気カードの摩擦を防ぐために定期的にクリーニングカードを通してヘッドの清掃を行ってください。埃の少ない場所でのご使用の場合、週に1回および500パスに1回を目安にクリーニングを行ってください。
- 使用しないときはカバーを閉じてください。カバーを閉じないと防滴機能が保証されません。

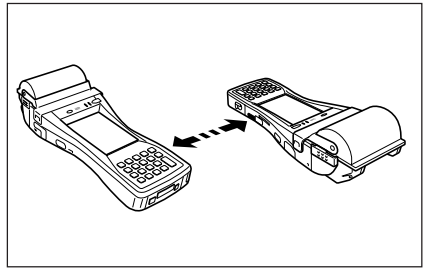
データ通信について

赤外線通信

赤外線通信は本体間の通信などでお使いになります。

通信を行うときには、本機の赤外線通信ポートと他の機器の赤外線通信ポートが真っすぐに向き合うようにしてください。

0 (接触)～1 m (4Mbpsは最大20cm)以内で通信できます。



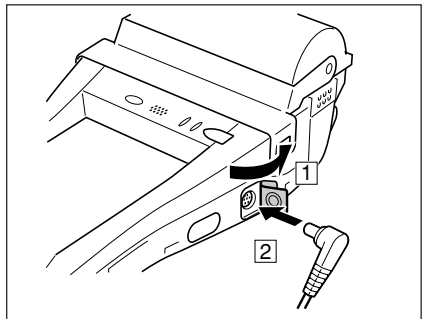
使用上のご注意

- 本機の赤外線通信では、高感度の通信素子を使用しております。
通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話等)のご使用は避けてください。
これらの機器をご使用になる場合は本機から距離を離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)で使用ください。

パソコンとの通信

本機とパソコンとの間で直接データの転送ができます。

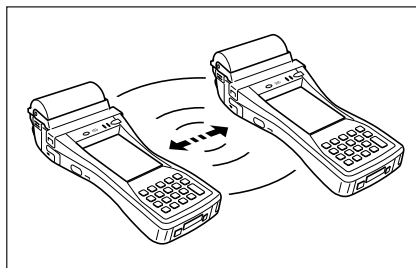
本機の電源をOFFにして、コネクタカバーを開けて(①)本体右側面のRS-232Cインターフェースコネクタとパソコンをケーブル(HA-B80AX)で接続します(②)。



Bluetooth®通信

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と5m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約5m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について

Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLANを搭載した機器の電源を切ってください。

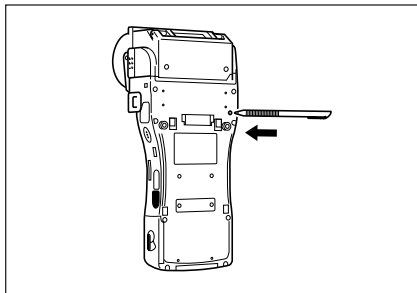
リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中等で、まだ保存していなかったデータは消去されますが、メモリ上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機裏面のリセットスイッチをスタイラスで押します。

リセット処理が開始されます。



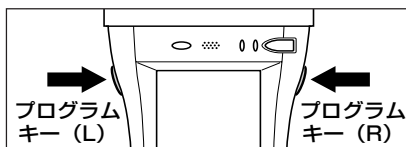
メモリに異常がない場合

起動されます。

メモリに異常がある場合

起動画面が表示されず、次のメッセージが表示されます。

メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました。
「Rプログラム」を押すとリセット処理が実行され、メモリは復旧を試みます。
(メモリは、ユーザーメモリの回復不能な状態を検出すると、RAM内のユーザーデータを全て消去します。)
取扱説明書を参照して、メモリ初期化を行ってください。



このメッセージが表示されたらプログラムキー(R)を押してください。リセット処理が続行されます。ただし、メモリの状態によっては、正常にリセット処理が行われない場合があります。その場合は、次のページに記載されているフルリセットを行ってください。

フルリセット(メモリの初期化)について

フルリセット(メモリの初期化)を実行すると、メモリ(RAM)上に保存されていたすべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

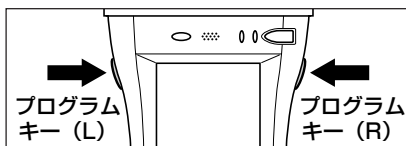
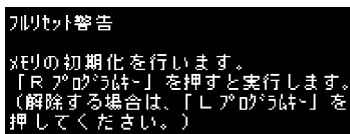
- メモリ(RAM)内容を完全に消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- 「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました・・・」というメッセージが表示された場合

フルリセットの実行のしかた

使用上のご注意

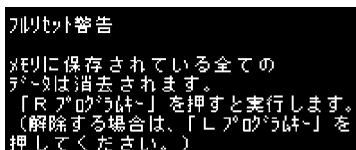
- フルリセットを行うと、メモリ(RAM)に記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはフラッシュメモリ、メモリカードなどへバックアップを行っておいてください。

- 1 電源キーと取消キーを押しながらリセットスイッチをスタイラスで約1秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。



- 実行を解除する場合はプログラムキー(L)を押します。

- 2 プログラムキー(R)を押すと、以下のメッセージが表示されます。



- 実行を解除する場合はプログラムキー(L)を押します。

- 3 再度プログラムキー(R)を押します。

- フルリセットが実行され、すべてのメモリ(RAM)上のデータが消去され、起動画面が表示されます。

DT-9700の仕様

1. 本体仕様

型式	: DT-9700M33、DT-9700M33ASK、DT-9700M33MCR、DT-9700M53
CPU	: Intel® PXA255 アプリケーションプロセッサ(MAX 400MHz)
メモリ	: DT-9700M33、DT-9700M33ASK、DT-9700M33MCR : RAM32MB ROM64MB(ユーザー領域:約30MB) DT-9700M53 : RAM64MB ROM64MB(ユーザー領域:約30MB)
OS	: Microsoft® Windows® CE .NET 日本語版
表示	: 3.5inch、240×320ドット、カラー2WayTFT液晶

2. 赤外線通信仕様

インターフェース	: IrDA Ver1.1 準拠
同期方式	: 調歩同期、フレーム同期
伝送速度	: 4Mbpsまで(MAX)

3. ASK通信仕様(DT-9700M33ASKのみ)

自動販売機情報管理システム赤外光通信仕様 Ver1.01 準拠

4. シリアル通信仕様

インターフェース	: 8pin
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 300bps~115.2Kbps
インターフェース	: 14pin
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 300bps~115.2Kbps
	*Wake on対応あり

5. Bluetooth® 通信仕様

通信方式	: Bluetooth® Specification Ver.1.1
通信距離	: 約5m(電波の状態や環境により変化します)
出力	: 最大3dBm(PowerClass2)
	*Wake on機能あり

6. プリント仕様

方式	: ドロップイン型サーマルラインドット方式
有効印字幅	: 72mm(80mm用紙)/48mm(58mm用紙)
印字速度	: 28行/秒
印字文字種	: ANK、漢字(JIS第1水準/第2水準)、バーコード(JAN/UPC-E/ NW-7/Code-39/ITF/Code-128)、OCR-B、外字128文印字、 文字フォント: 漢字 12dot 48/32桁、16dot 36/24桁、24dot 24/16桁印字(桁数はそれぞれ80mm用紙の場合/58mm用紙の場 合)、文字サイズ: 自由倍角文字
発行方式	: 白黒反転、文字フォント混在印字

7. カードスロット仕様

PCカードスロット：PCカードTypeI/TypeII(3.3V/5.0V 仕様)*Wake on対応あり
SDメモ리카ードスロット：SDメモ리카ード

8. 磁気カードリーダー仕様(DT-9700M33MCRのみ)

適用磁気カード：JIS II、ISO#1.2

9. 電源部仕様

メイン電源用：リチウムイオン充電電池パック

バックアップ電源用：リチウム充電電池(内蔵)

電池寿命：メイン電池：

約12.6時間：バックライトオフ、電子協HT 標準動作モードD

約15時間：バックライトオフ、電子協HT 標準動作モードA

バックアップ電池：

データ保持(RAM)10分(メイン電池がない場合)

時計2週間(メイン電池がない場合)

消費電力：DC4.5A/7.4~10V

10. 動作環境

動作温度：-20~50℃(2P・ラベル用紙の場合は5~35℃)

動作湿度：10~80%RH(結露なきこと)

11. 外形寸法・質量

外形寸法：DT-9700M33/M33ASK/M53
：約80(表示部幅)×199.5(奥行き)×28(表示部高さ)mm
(ペーパーホルダー突起部含まず)

DT-9700M33MCR

：約80(表示部幅)×229.5(奥行き)×28(表示部高さ)mm
(ペーパーホルダー突起部含まず)

質量：DT-9700M33/M53：約530g
(充電電池パック装着時、ペーパーホルダー含まず)

DT-9700M33ASK：約550g
(充電電池パック装着時、ペーパーホルダー含まず)

DT-9700M33MCR：575g
(充電電池パック装着時、ペーパーホルダー含まず)

12. その他

落下強度：1.2m

防水防塵性能：JIS防沫型準拠、IEC60529 IP54準拠

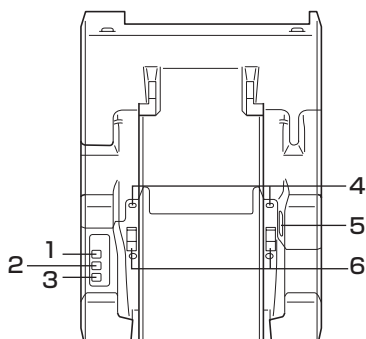
時計機能：年・月・日・曜日・時・分、フルオートカレンダー

■ シリアルIOボックス(HA-B6110)の取り扱い

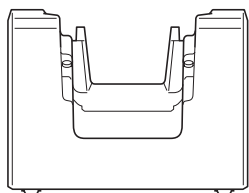
別売のシリアルIOボックス(HA-B6110)は、ハンディターミナルとパソコンなどとの間でRS-232CインターフェースまたはUSBインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、ハンディターミナルを接続して充電電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

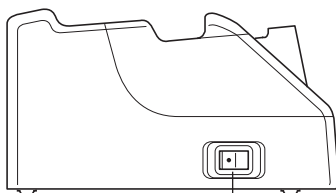
上面



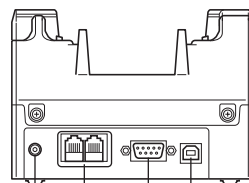
正面



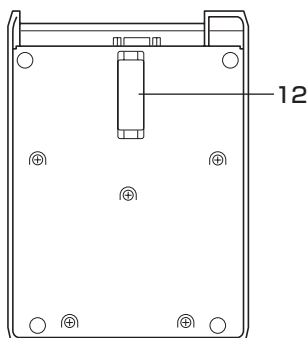
右側面



背面



底面



1	システム稼働表示用LED	システムが正しく稼働していることを表示します。 ハンディターミナル本体の装着と関係なく、システムの稼働状態/システムとの通信可否を表示します。 消灯：システムが稼働していません。 緑色点灯：システムが稼働しています。
2	通信状態表示用LED	ハンディターミナルが通信を行っていることを表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。 赤色点灯：シリアルIOボックス間の接続が異常です。
3	電源表示用LED	電源の状態、ハンディターミナル本体の装着状態を表示します。 消灯：電源OFF 緑色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体が正常に装着されています。 赤色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体は装着されていません。
4	本体装着検知用スイッチ	ハンディターミナル本体が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
5	赤外線インターフェース(赤外線通信部)	非接触型赤外線通信部です。ハンディターミナル本体との通信に使用します。
6	給電端子	ハンディターミナルへ電源を供給する端子です。
7	電源スイッチ	電源をON/OFFするスイッチです。
8	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続して電源を供給します。
9	RS-422インターフェース	シリアルIOボックス間の接続に使用します。
10	RS-232Cインターフェース	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
11	USBインターフェース	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
12	DIPスイッチ	各種仕様の設定を行うスイッチです。

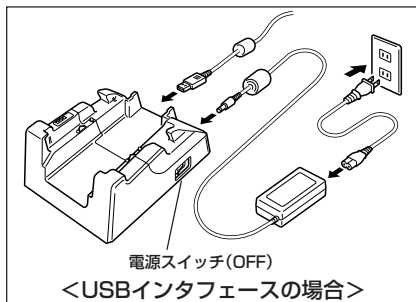
シリアルI/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

シリアルI/Oボックスの電源は、シリアルI/Oボックスに別売のACアダプタを使用してください。

ハンディターミナルとデータ通信をする前に必ずシリアルI/OボックスとACアダプタを接続してください。ハンディターミナルへの電源はシリアルI/Oボックスから供給されます。

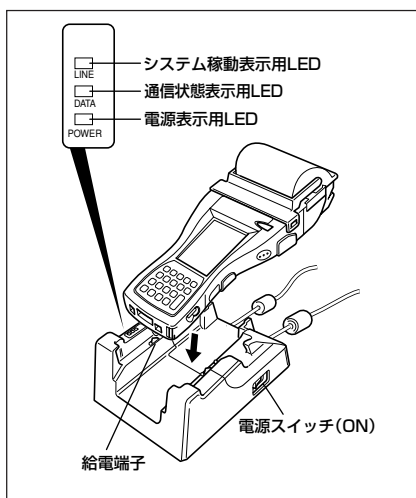
1 シリアルI/Oボックスの電源スイッチがOFFであることを確認してからシリアルI/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



3 シリアルI/Oボックス、パソコンの電源スイッチがOFFであることを確認してからシリアルI/Oボックスの背面にあるRS-232CインターフェースまたはUSBインターフェース(キャップを外す)とパソコンなどをRS-232Cケーブル(DT-887AXA/882RSC/883RSC)またはUSBケーブル(DT-380USB)で接続します。

RS-232Cケーブル(DT-887AXA/882RSC/883RSC)またはUSBケーブル(DT-380USB)を使わないときはキャップを付けてください。



4 電源スイッチをONにします。シリアルI/Oボックスの電源表示用LEDが、赤色に点灯します。

- 5** ハンディターミナル右側面の赤外線通信部とシリアルIOボックスの赤外線通信部が密着するように置きます。シリアルIOボックスの電源表示用LEDが、緑色に点灯します。
- ・システムが正しく稼働し、通信状態になると、システム稼働表示用LEDが緑色点灯します。
 - ・通信を始めると、通信状態表示用LEDが緑色点滅します。

充電が始まると、DT-9700のインジケータ1が赤色に点灯します。充電が完了すると、DT-9700のインジケータ1が赤色から緑色に変わります。

※充電池パックが未装着でも充電LEDが点灯することがあります。充電するときは充電池パックが装着されていることを確認してください。

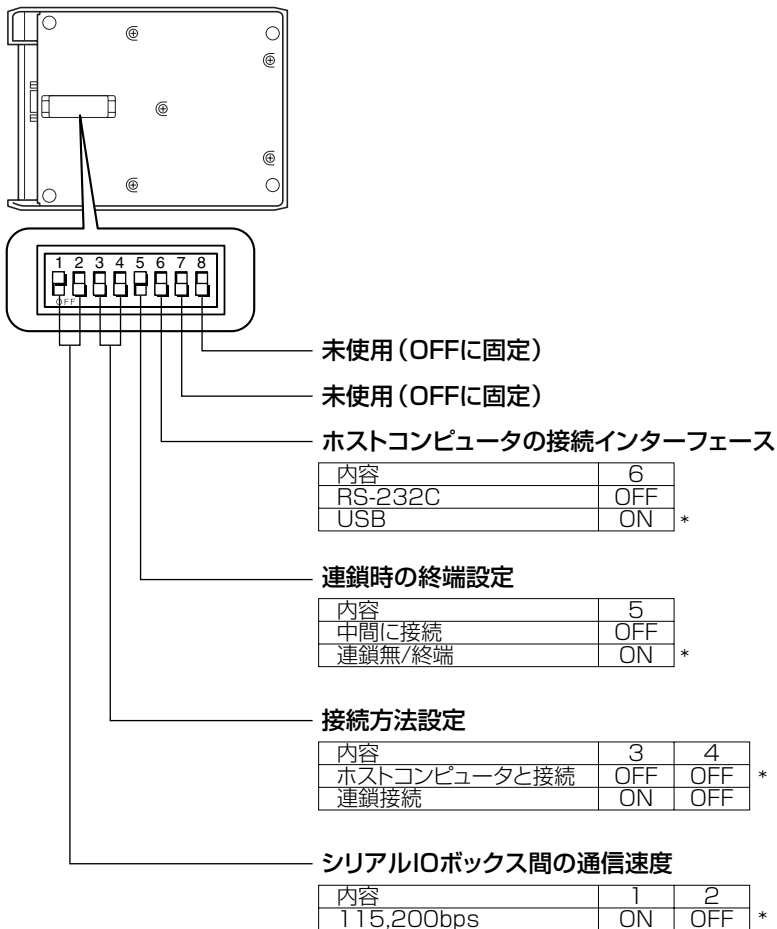
使用上のご注意

- ・本機の赤外線通信機能では、高感度の通信素子を使用しております。通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話など)のご使用は避けてください。これらの機器をご使用になる場合は、本機から離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)ご使用ください。
- ・シリアルIOボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- ・充電中にプリンタ印字を行うと、給電量よりも放電量が大きくなり、電池が消耗します。このため、残量の少ない電池ではプリンタ印字ができなくなることがあります。

DIPスイッチの設定

シリアルIOボックスの底面のカバーを外すとDIPスイッチがあります。

各スイッチをON/OFFすることで仕様を設定できます。電源OFFにしてから設定してください。



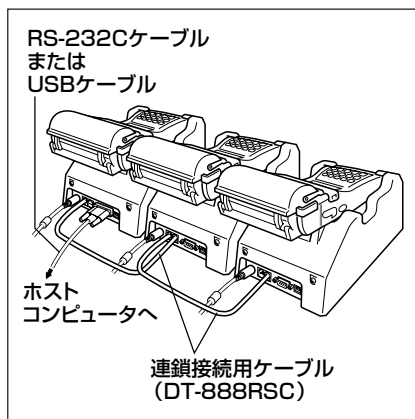
*初期設定の状態を示しています。

使用上のご注意

- 上記以外の設定は検査等特殊なモードであり、正常に動作しませんので設定しないでください。

シリアルIOボックス(HA-B6110)を2台以上接続する

ホストコンピュータと接続したシリアルIOボックスの「C-OUT」と、次に接続したいシリアルIOボックスの「C-IN」を接続します。



使用上のご注意

- オプションの連鎖接続用ケーブル(DT-888RSC)を使うことにより、最大8台までシリアルIOボックスを接続できます。

シリアルIOボックス(HA-B6110)の仕様

1. 赤外線通信仕様

インターフェース	: 赤外線インターフェース
規格	: IrDA Ver1.1 準拠
同期方式	: 調歩同期、フレーム同期
伝送速度	: 9,600/115,200bps/4Mbps (4Mbpsは、ホストコンピュータとUSB接続した場合のみ)

2. USB仕様

規格	: USB Ver1.1 準拠
伝送速度	: 12Mbps(MAX)

3. RS-232C仕様

通信方式	: 全二重
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 115,200bps

4. RS-422仕様

通信方式	: 全二重
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 115,200bps

5. 充電仕様

充電方式	: 定電圧方式(電流制限付き)
充電時間	: 約8時間(標準電池パック)

6. 電源部

使用電源	: 専用ACアダプタ
消費電流	: DC12V 約2200mA
ハンディターミナル出力	: DC10V 約1800mA(MAX) ※本電源のみでハンディターミナルのプリンタ動作はできません。

7. ACアダプタ仕様(別売)

規格名	: AD-S42120A
入力	: AC 100-240V 50/60Hz 98-115VA
出力	: DC 12V 3500mA

8. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約130(幅)×206(奥行)×104(高さ)mm
質量	: 約660g

9. 動作環境

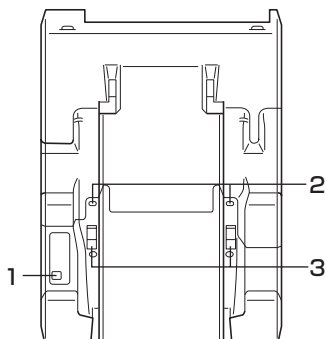
動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 30~80%RH(結露なきこと)

■ 置くだけ充電器(HA-B30CHG)の取り扱い

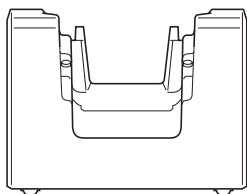
別売の置くだけ充電器(HA-B30CHG)は、ハンディターミナルを接続して、充電電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

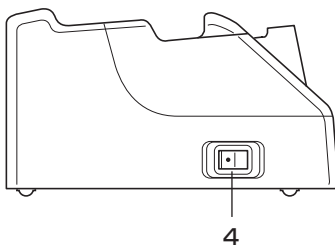
上面



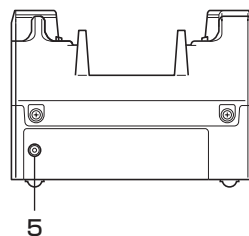
正面



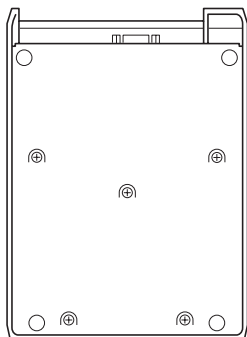
右側面



背面



底面



1	電源表示用LED	<p>電源の状態、ハンディターミナル本体の装着状態を表示します。</p> <p>消灯：電源OFF</p> <p>赤色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体は装着されていません。</p> <p>緑色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体が正常に装着されています。</p>
2	本体装着検知用スイッチ	ハンディターミナル本体が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
3	給電端子	ハンディターミナルへ電源を供給する端子です。
4	電源スイッチ	電源をON/OFFするスイッチです。
5	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続して電源を供給します。

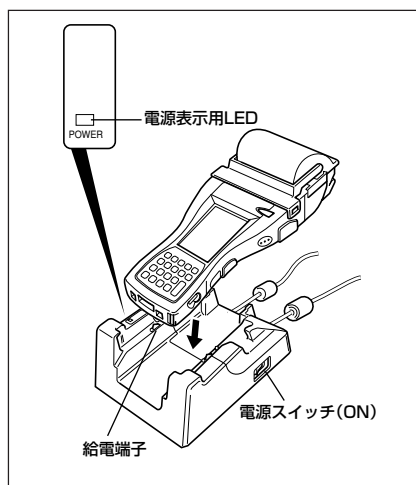
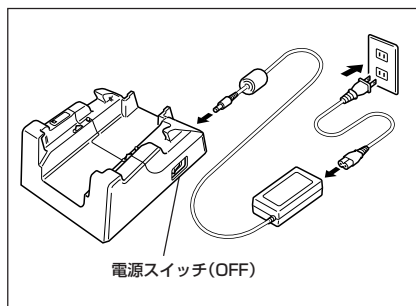
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続

置くだけ充電器の電源は、置くだけ充電器に別売の専用ACアダプタを使用してください。

- 1 置くだけ充電器の電源スイッチがOFFであることを確認してから置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。
- 2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。
- 3 電源スイッチをONにします。置くだけ充電器の電源表示用LEDが、赤色に点灯します。
- 4 ハンディターミナル底面の給電端子と置くだけ充電器の給電端子が密着するように置きます。置くだけ充電器の電源表示用LEDが、緑色に点灯します。

充電が始まると、DT-9700のインジケータ1が赤色に点灯します。充電が完了すると、DT-9700のインジケータ1が赤色から緑色に変わります。

※充電パックが未装着でも充電LEDが点灯することがあります。充電するときは充電パックが装着されていることを確認してください。



使用上のご注意

- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- 充電中にプリンタ印字を行うと、給電量よりも放電量が大きくなり、電池が消耗します。このため、残量の少ない電池ではプリンタ印字ができなくなることがあります。

置くだけ充電器(HA-B30CHG)の仕様

1. 充電仕様

- 充電方式 : 定電圧方式(電流制限付き)
- 充電時間 : 約8時間(標準電池パック)

2. 電源部

- 使用電源 : 専用ACアダプタ
- 消費電流 : DC12V 約2100mA
- ハンディターミナル出力 : DC10V 約1800mA(MAX)
※本電源のみでハンディターミナルのプリンタ動作はできません。

3. ACアダプタ仕様(別売)

- 規格名 : AD-S42120A
- 入力 : AC 100-240V 50/60Hz 98-115VA
- 出力 : DC 12V 3500mA

4. 外形寸法・質量

- 外形寸法 : 約130(幅)×206(奥行)×104(高さ)mm
- 質量 : 約630g

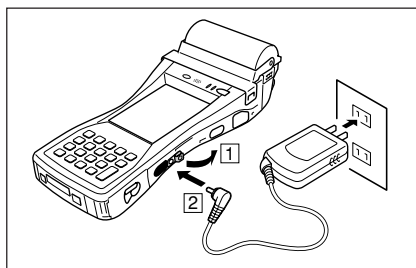
5. 動作環境

- 動作温度 : 0~40℃
- 動作湿度 : 30~80%RH(結露なきこと)

本体接続充電器(AD-A95100L)の取り扱い

1 本機の電源キーを押し、電源をOFFにします。

2 本体接続充電器のプラグをACコンセントにつないでから、ジャックカバーを開けて(1)本体接続充電器のプラグを本機の充電ジャックへ差し込みます(2)。



3 充電が開始され、本体のインジケータ1が赤色点灯します。

本体のインジケータ1が緑色点灯すると充電完了です。(充電時間は本体電源OFFにて約8時間です。)

※ 充電電池パックが未装着でも充電LED が点灯することがあります。充電にあたっては充電電池パックが装着されていることを確認してから行なってください。

使用上のご注意

- 電池パックはしっかり取り付けてください。
- 充電は振動のない場所で行なってください。
- 本体接続充電器は充電電池パックの充電専用です。
- 本体接続充電器を接続しているときは、本体の電源をOFFにしてください。
- 本体充電器のプラグを本体につないだまま充電電池パックを装着し直したときは、必ず一度プラグを抜き、差し込み直してください。

本体接続充電器(AD-A95100L)の仕様

1. 充電仕様

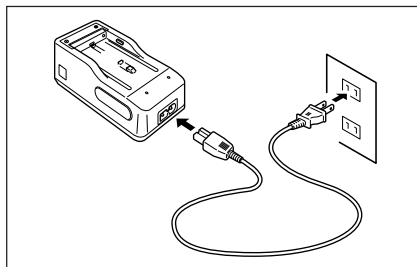
- 充電方式 : 定電圧定電流充電(充電回路は本体に内蔵)
充電時間 : 約8時間(本体電源OFFにて)

2. 外形寸法・質量

- 外形寸法 : 約80.5×44×23.4mm
質量 : 約103g

■ シングル充電器(DT-9721CHG)の取り扱い

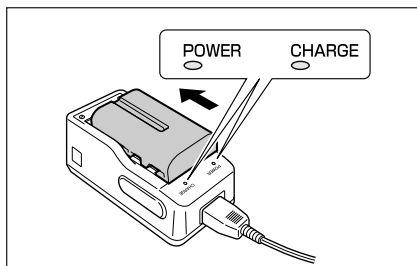
- 1 シングル充電器に電源コードを接続し、コンセントにプラグを差し込みます。



- 2 充電電池パックを矢印の方向にスライドさせながら取り付けます。

充電ランプ(オレンジ色)が数秒後に点灯し、充電が始まります。充電ランプが消えると充電完了です。

- 充電時間は約3時間です(1度使い切った充電電池パックを充電した場合)。
- 周囲の温度や充電電池パックの状態によっては、充電時間が異なることがあります。
- すでに充電を完了している充電電池パックを取り付けたとき、充電ランプが1度点灯します。



使用上のご注意

- 電池パックはしっかり取り付けてください。
- 充電は振動のない場所で行なってください。
- 充電電池パックを取り付けたとき、充電ランプが点灯しない場合や、点滅する場合は、本機または充電電池パックが故障している可能性があります。購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

電池パックを取り外すには

取り付けたときと反対の方向にスライドさせます。

シングル充電器(DT-9721CHG)の仕様

1. 充電仕様

- 充電方式 : 定電圧定電流充電
- 充電時間 : LED 消灯まで約3時間

2. 充電表示

- 充電時 : オレンジ色LED点灯
- 充電完了時 : LED 消灯時約90%充電
LED 消灯後約1時間で充電完了

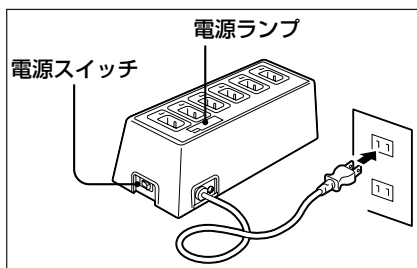
3. 外形寸法・質量

- 寸法 : 約56×44×107mm
- 質量 : 約140g

マルチ充電器(DT-9726MCHG)の取り扱い

最大6個まで充電電池パックを取り付けられます。

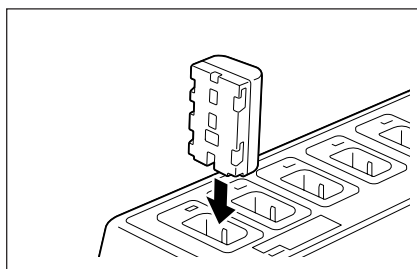
- 1 マルチ充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。
電源ランプが緑に点灯します。



- 2 充電電池パックをスロットにしっかりと差し込みます。

充電ランプが赤く点灯し、充電を開始します。充電が完了すると緑の点灯にかわりません。

- 充電時間は約12時間です(1度使い切った充電電池パックを充電した場合)。
- 周囲の温度や充電電池パックの状態によっては、充電時間が異なることがあります。
- 各スロット毎に独立で充電しますので、6個同時にセットすれば、約12時間後に6個充電完了します。



使用上のご注意

- 電池パックはしっかりと取り付けてください。
- 充電は振動のない場所で行なってください。
- 充電電池パックを取り付けて充電ランプが赤色に点滅したり、点灯しないときは、本機または充電電池パックの故障の可能性があります。

マルチ充電器(DT-9726MCHG)の仕様

1. 充電仕様

- 充電方式 : 定電圧定電流充電
- 充電時間 : 約12時間

2. 充電表示

- 充電時 : 赤色LED点灯
- 充電完了時 : 緑色LED点灯(点灯後約2時間で満充電)

3. 外形寸法・質量

- 寸法 : 約300×130×110mm
- 質量 : 約1,350g

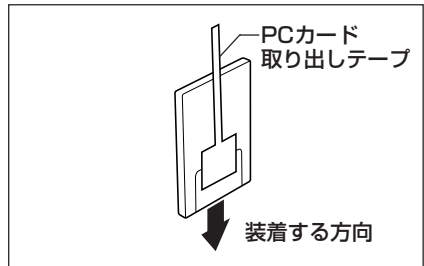
PCカードの取り扱い

本機はPCカードに対応しています。PCカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

PCカード取り出しテープの貼り付け

PCカードによっては、PCカードスロットに装着すると、取り出すことが困難になるものもあります。

PCカードにはあらかじめ付属のPCカード取り出しテープを貼り付けておいてください。

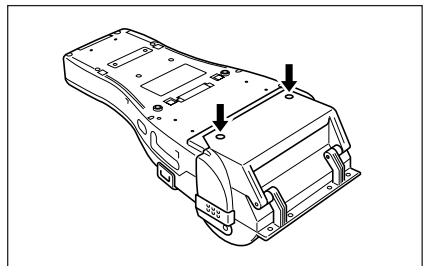


使用上のご注意

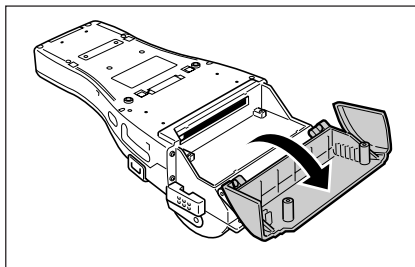
PCカードアダプターを介してCFカードなどを装着する際は、PCカード取り出しテープを必ずPCカードアダプターに貼り付けてください。誤ってCFカードなどにPCカード取り出しテープを貼ると、取り外すときにCFカードだけが抜けてしまい、PCカードアダプターが取り出せなくなることがあります。

PCカードの装着(ロールペーパーホルダーを使用している場合)

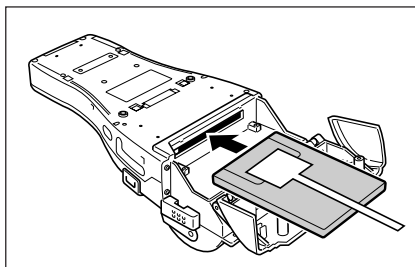
- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。
- 2 本機を裏返します。
- 3 図のネジを2本ゆるめます。(ネジは外れません)



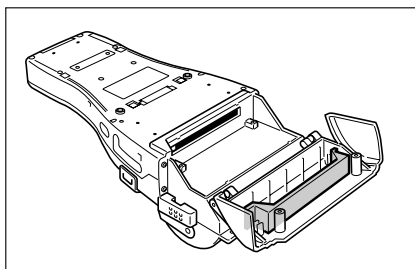
- 4** 図のようにカバー(PCカードスロット部のカバー)を開きます。



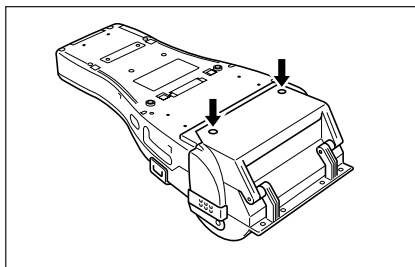
- 5** PCカード取り出しテープを貼ったPCカードを装着します。
カードの表側がハンディターミナルの表側になるように奥まで差し込んでください。
PCカード取り出しテープのつまみ部分は、カバーを閉じるとき邪魔にならないように折りたたんでください。



- 6** 衝撃などでPCカードが外れることを防止するために、PCカードホルダーを取り付け、PCカードの先端を固定します。
PCカードの先端の位置に合わせて、ホルダーのタイプ(3種類)・ホルダーの向き・取り付ける位置を決めてください。

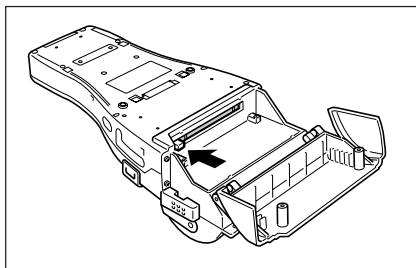


- 7** カバー(PCカードスロット部のカバー)を閉じ、ネジで固定します。



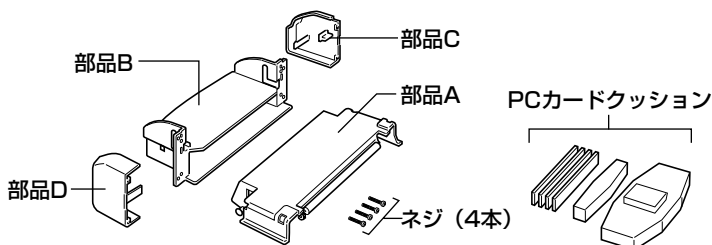
PCカードを取り出すときは

PCカードスロット左側の取り出しボタンをスタイラスで押してから、PCカード取り出しテープの先端を持って引き出してください。



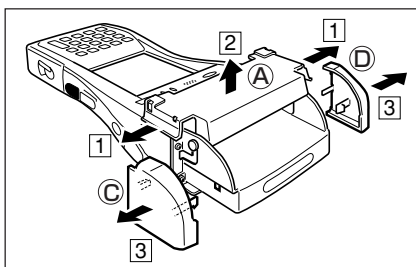
PCカードの装着(単票用紙ホルダーを使用している場合)

作業の前に、単票用紙ホルダーの部品の名称を確認してください。

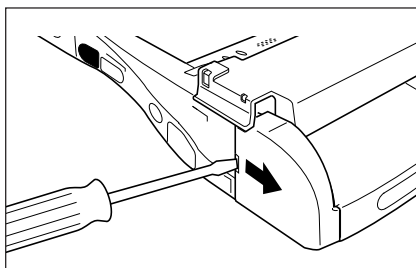


- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

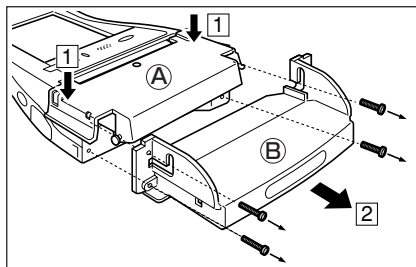
- 2 単票用紙ホルダーの部品Aの両端を広げて (1) 本体から外し (2)、部品Cおよび部品Dを取り外します (3)。



- 部品Cおよび部品Dは、図のようにマイナスドライバーを使って取り外してください。



- 3** 部品Aの両端を押して本体に取り付け直してから(1)、ネジを外して部品Bを取り外します(2)。

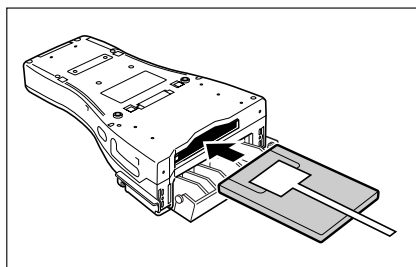


- 4** PCカード取り出しテープを貼ったPCカードを装着します。

カードの表側がハンディターミナルの表側になるように奥まで差し込んでください。

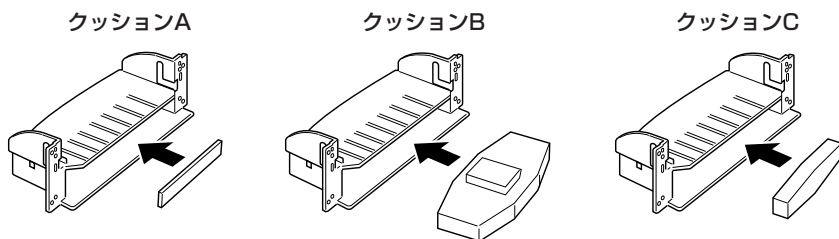
(図は本機を裏返した状態)

PCカード取り出しテープのつまみ部分は、単票用紙ホルダーを取り付け直るとき邪魔にならないように折りたたんでください。



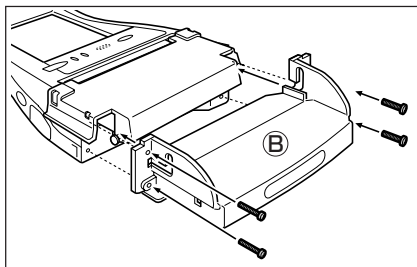
- 5** 衝撃などでPCカードが外れることを防止するため、単票用紙ホルダーの部品BにPCカードクッションを取り付け、PCカードの先端を固定します。

PCカードの先端の位置に合わせて、クッションのタイプ(3種類)を決めてください。

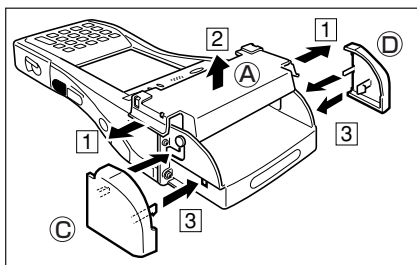


- ・クッションは図の向きで使用します。
- ・部品Bの中央に奥まで押し込んでください。
- ・クッションAとクッションCは組み合わせて使用することもできます。

- 6 部品Bのミゾを部品Aの両側の突起にはめ込み、本体に単票用紙ホルダー用ネジでネジ止めします。



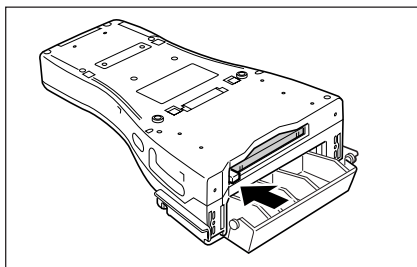
- 7 部品Aの両端を広げて〔1〕本体から外し、その突起部が部品Bのミゾの上端にくるまで持ち上げ〔2〕、部品Cおよび部品Dを左右からはめ込みます〔3〕。その後、部品Aの両端を押し、本体にはめ込んでください。



PCカードを取り出すときは

PCカードスロット左側の取り出しボタンをスタイラスで押してから、PCカード取り出しテープの先端を持って引き出してください。

(図は本機を裏返した状態)



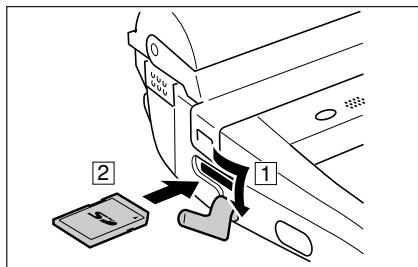
SDメモ리카ードの取り扱い

本機はSDメモ리카ードに対応しています。SDメモ리카ードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

SDメモ리카ードの装着

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

- 2 SDメモ리카ードスロットのフタを開け(1)、SDメモ리카ードの表側がハンディターミナルの表側を向くように奥に突き当たるまで差し込みます(2)。



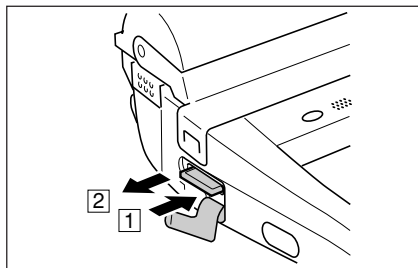
- 3 SDメモ리카ードスロットのフタを閉じます。

SDメモ리카ードを取り外すときは

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

- 2 SDメモ리카ードスロットのフタを開け、SDメモ리카ードを押し込みます(1)。

SDメモ리카ードが押し出されます(2)。



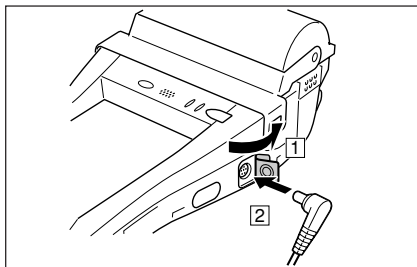
- 3 SDメモ리카ードを引き抜き、SDメモ리카ードスロットのフタを閉じます。

■ バーコードリーダーの取り扱い

バーコードリーダーは本機のバーコードリーダーコネクタに接続して使用します。バーコードリーダーにはペンスキャナDT-9650BCR、タッチスキャナDT-9656BCRの2種類があります。

バーコードリーダーの接続

- 1 本機の電源をOFFにし、本機の右側面にあるRS-232Cインタフェースコネクタのカバーを開けます(1)。
- 2 バーコードリーダーのプラグに矢印(→)がありますので、その矢印が上向きになるようにして本機のRS-232Cインタフェースコネクタに差し込みます(2)。



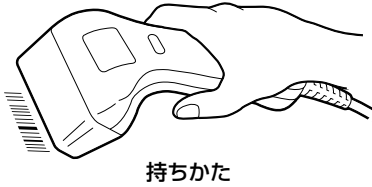
バーコードリーダーの取り外しかた

本機の電源をOFFにし、バーコードリーダーのプラグを取り外します。

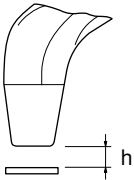
<タッチスキャナ>

1 バーコードにタッチする角度

(読み取り分解能0.33mm、PCS 値0.45 の場合)

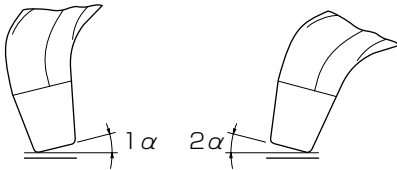


非接触距離(h)



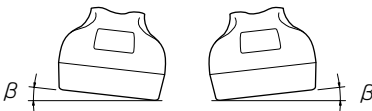
$h=0 \sim 20\text{mm}$
 $\alpha=0$
 $\beta=0$
 $R=\infty$

前後傾斜角度(α)



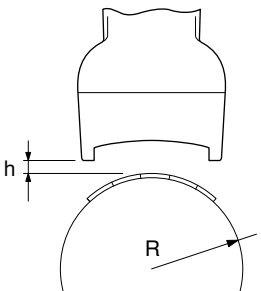
$1\alpha=0 \sim 10^\circ$ (前方向傾斜)
 $2\alpha=0 \sim 30^\circ$ (後方向傾斜)
 $h=0$
 $\beta=0$
 $R=\infty$

左右傾斜角度(β)



$\beta=0 \sim 10^\circ$
 $h=0$
 $\alpha=0$
 $R=\infty$

湾曲(R)



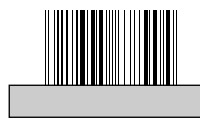
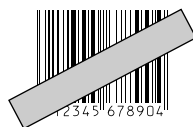
$R=25\text{mm}$ 以上
(分解能0.33 mm、PCS 値0.45の時)
 $h=5\text{mm}$
 $\alpha=0$
 $\beta=0$

※ h 、 α 、 β 、 R は共通定義です。
バーコードの位置は読み取り窓のセンターとします。

2 バーコードにタッチする位置



(○印：正しい位置
×印：間違った位置)



バーコードリーダーの仕様

<DT-9650BCRペンスキャナ>

読み取りコード	: WPC(JAN、EAN、UPC)、NW-7、CODE-11/39/93/128、ITF、INDUSTRIAL20F5
ケーブル長	: 約100cm
読み取り分解能	: 0.125mm以上(PCS値0.85以上)
使用角度	: 45~90度
走査速度	: 76~760mm/秒
周囲温・湿度	: -10~50℃、15~90%RH
外形寸法	: 約幅147×奥行20.6×高さ12.5mm
質量	: 約85g(ケーブル含む)

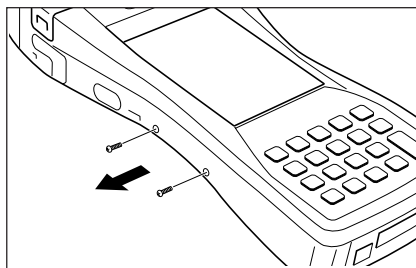
<DT-9656BCRタッチスキャナ>

読み取りコード	: WPC(JAN、EAN、UPC)、NW-7、CODE-39/93/128、ITF、DTF、MSI/Plessey、IATA
ケーブル長	: 約60cm(水平設置)
読み取り分解能	: 0.127mm以上(PCS値0.9以上)
非接触距離	: 0~20mm
読み取り角度	: 前10度 後30度 左右 ±10度 回転 ±10度 湾曲 R=25mm以上(分解能0.33mmの時)
読み取り幅	: 60mm
周囲温・湿度	: 0~40℃、20~80%
外形寸法	: 約幅161×奥行64.4×高さ59mm
質量	: 約250g(ケーブル含む)

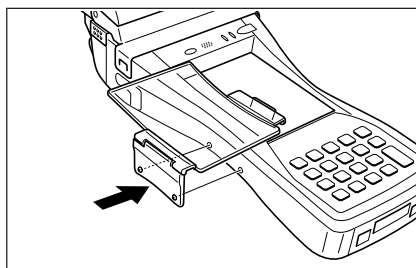
画面保護カバーの取り付け

画面保護カバーをDT-9700に取り付けることにより、持ち運びの時など表示画面が割れたりキズがつくことを防ぎます。

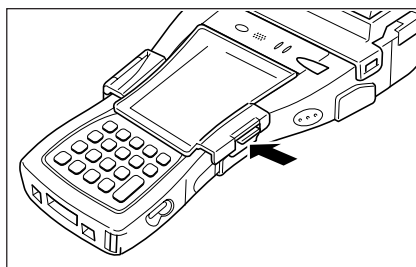
- 1** 本体右側面のネジを外します。
外したネジは大切に保管してください。



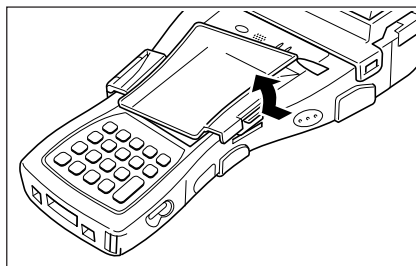
- 2** 画面保護カバーをネジで固定します。
ネジは画面保護カバーに付いています。



- 3** 画面保護カバーを閉じ、カバーフックを押し
て固定します。

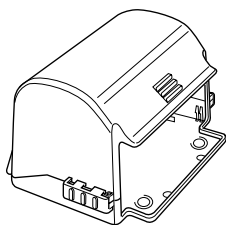


カバーを開くときは、カバーフックを押し上
げてください。



防滴カバーの取り付け (DT-9700M33のみ)

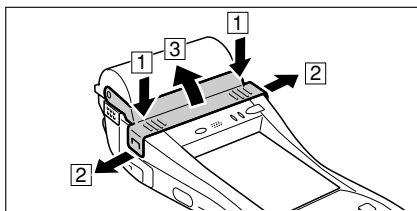
防滴カバーをDT9700に取り付けて、雨の日でも安心してお使いいただくことができます。



内カバー

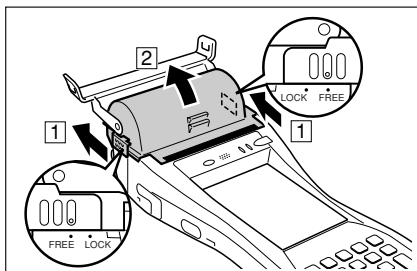
防滴カバーは次の手順で取り付けてください。

- 1 ペーパー切取口カバーの ㊦ の部分を押さえながら (1)、左右のロックを図のように開いて (2) 外し、開きます (3)。

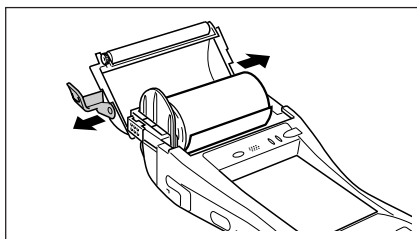


- 2 ロールペーパーホルダーの左右のロックスイッチを図のようにずらし「FREE」の位置に合わせ (1)、㊦ の部分を押し上げて (2) 開きます。

- 右と左のロックスイッチの位置が異なりますので注意してください。

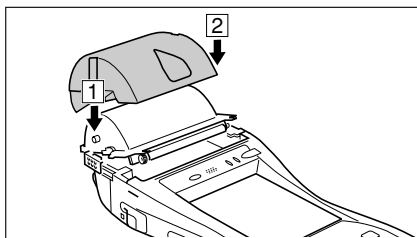


- 3 ペーパー切取口カバーの軸受部分を左右に開いて、取り外します。



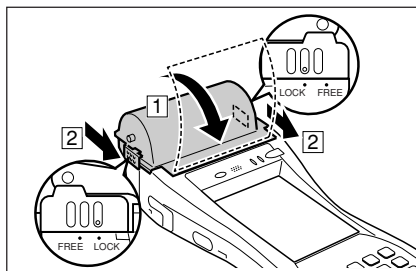
- 4 図のように内カバーを取り付けます。

まず、内カバーの一方のスリットにロールペーパー側面の突起をはめ込みます (1)。次に、内カバーの反対側を上から押して、そちら側のスリットにもロールペーパーホルダーの突起をはめ込んでください (2)。

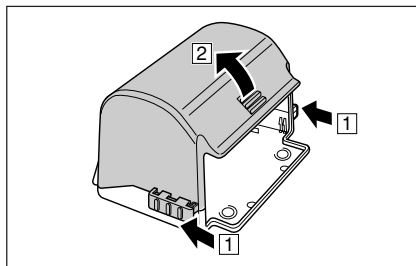


5 ロールペーパーホルダーを閉じ、左右のロックスイッチを図のようにずらし「LOCK」の位置に合わせて固定し、余分な用紙を切り取ります。

- 右と左のロックスイッチの位置が異なっていますので注意してください。



6 防滴カバーの左右のロックスイッチを図のようにずらして(1)開きます(2)。

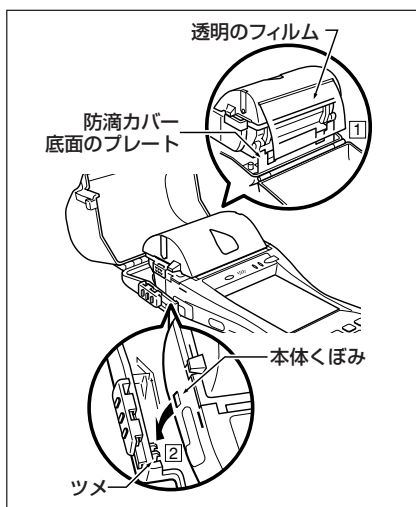


7 図のように防滴カバーを取り付けます。

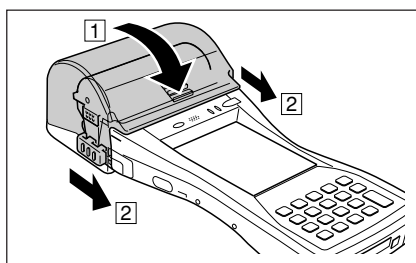
- 内カバーの透明フィルムが、図の位置にあることを確認してください(1)。

なお、ロールペーパーを切り取る際に、透明フィルムが図の位置からずれることがあります。ロールペーパーを切り取ったときも、透明フィルムの位置を確認してください。

- 防滴カバーの内側のツメ(左右2か所)が、本体左右のくぼみに入ったことを確認してください(2)。



8 防滴カバーを閉じ(1)、左右のロックスイッチで固定します(2)。



■ 充電池パックの取り扱い

■ 使用上のご注意

- 充電池パックを本体から外して保管するときは、必ず付属の端子カバーを取り付けてください。
- 充電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われますので、新しいものと交換してください。

充電池パックの仕様

型式	: DT-9723LI
公称容量	: 2200mAh
公称電圧	: 7.4V
外形寸法	: 幅39×奥行き71×高さ21mm
質量	: 約110g
付属品	: 端子カバー

カシオ計算機問い合わせ先 (平成18年4月現在)

商品についてのご相談

●国内営業統轄部 システム企画部 ☎03-5334-4638(代) 〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

法人第一推進部 ☎03-5334-4447
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

法人第二推進部 ☎03-5334-4534
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

西日本営業部 ☎06-6243-1717
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル7F

名古屋営業所 ☎052-324-2104
〒460-0024 名古屋市中区正木3-9-27 NFC金山ビル4F

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社を担当いたします。

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金のみでご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日曜・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

携帯電話・PHSなどをご利用の場合、03-5294-7251をご利用ください。

カシオテクノサービスセンター

- | | | | |
|------|-----|-----|-----|
| ●北海道 | 札幌 | ●北陸 | 金沢 |
| ●東北 | 盛岡 | ●東海 | 静岡 |
| | 仙台 | | 名古屋 |
| ●関東 | 宇都宮 | ●近畿 | 京都 |
| | 水戸 | | 大阪 |
| | 高崎 | | 神戸 |
| | 埼玉 | ●中国 | 岡山 |
| | 千葉 | | 広島 |
| | 東京 | ●四国 | 高松 |
| | 多摩 | ●九州 | 福岡 |
| | 横浜 | | 熊本 |
| ●信越 | 新潟 | | 鹿児島 |
| | 長野 | | |

*その他、26カ所の出張所があります。